



琉球大学 大学案内 2022

琉球大学  
2022

Island wisdom,  
for the world,  
for the future.



Island wisdom,  
for the world,  
for the future.

## CONTENTS

研究者紹介	03	キャンパスライフ	67
		部活＆サークル	68
		CAMPUS MAP	69
		施設紹介	71
		海外留学	77
		学生寮	79
		経済サポート	81
		キャリア教育・支援と卒業生の進路	82
		取得可能な教員免許状	83
		教員免許状以外の資格等	84
		入試統計	85
		ACCESS	86
琉大が求める人材像	13		
琉大でSDGs	20		
私とSDGs	28		

人文社会学部	15	医学部	41
国際法政学科	17	医学科	43
人間社会学科	18	保健学科	45
琉球アジア文化学科	19		

国際地域創造学部	21	工学部	47
観光地域デザインプログラム	23	工学科	49
経営プログラム	24	機械工学コース	50
経済学プログラム	25	エネルギー環境工学コース	51
国際言語文化プログラム	26	電気システム工学コース	52
地域文化科学プログラム	27	電子情報通信コース	53
		社会基盤デザインコース	54
		建築学コース	55
		知能情報コース	56

教育学部	29		
学校教育教員養成課程	31		

農学部	57	理学部	33
亜熱帯地域農学科	59	数理科学科	35
亜熱帯農林環境科学科	61	物質地球科学科	37
地域農業工学科	63	海洋自然科学科	39
亜熱帯生物資源科学科	65		





動画



# 観光が生み出す 社会的効果や公共的価値を追究

より平和で公正な社会を作っていく上で  
観光がどのようなあり方であることが望ましいのか。  
様々な事例の調査や理論の追究によって研究しています。

国際地域創造学部 観光地域デザインプログラム 教授  
越智 正樹 Ochi Masaki  
〔学位〕京都大学 博士（農学）  
〔専門分野〕観光社会学・農村社会学・地域社会学



動画



# 生物多様性のホットスポットを 地図上で可視化し保全に役立てる

ありとあらゆる生物の分布、生物多様性のパターンをマクロ生態学の視点で調査。日本に分布している植物と脊椎動物それぞれの種について分布データを集めて地図上で重ね合わせた生物多様性マップを作成し、地図システムとしてWEBで一般に公開しています。



理学部 海洋自然学科 生物系 教授  
**久保田 康裕** Kuwoita Yasuhiro  
〔学位〕 帯広畜産大学 修士(農学)  
〔専門分野〕 植物生態学



## 琉大は県内唯一、 中学校の技術科教員を養成しています

私たちの普段の生活にはもちろん、教育界にも、プログラミング教育や一人一台端末のGIGAスクール構想など、デジタル技術の波がすごい勢いで押し寄せています。

何もかもがデジタル化してしまうと、古き良き伝統が消滅してしまいかと心配される方もいるかもしれません。そんなことはありません。

例えば日本の手漉和紙技術は、ユネスコの無形文化遺産に登録されるなど日本特有の伝統技術ですが、均一な紙をつくるための纖維加工技術は、デジタル技術に欠かせない半導体の製造になくてはならない技術なのです。これは本質的な伝統技術が最新技術の中に生き続けている一例です。

琉球大学では、学校現場の先生方や地域の民間団体と連携して新しい教育づくりに取り組んでいます。

未来に生き続ける新しい授業を一緒につくってみませんか。



教育学部 学校教育教員養成課程 准教授

**岡本 牧子** Okamoto Makiko

〔学位〕 九州大学 博士(工学)

〔専門分野〕 技術教育・流体力学



動画

# 地震や台風に対しても どれだけ強い建物を作れるかが 研究課題

これまであまり建築に使われてこなかった  
沖縄の樹種ウラジロガシやチャーギが  
首里城の再建に使われることになりました。  
現在それらの強度を調査中です。



工学部 工学科 建築学コース 教授

【学位】筑波大学 博士（工学）  
【専門分野】建築構造学

カストロ ホワン ホセ Castro Juan Jose



医学部 保健学科 病態検査学講座 教授

【学位】長崎大学 博士（医学）  
【専門分野】血液免疫検査学

福島 阜也 Fukushima Takuya

臨床検査技師を育成するコースの担当教員であり、沖縄県に感染者が多いHTLV-1を原因ウイルスとする血液悪性腫瘍の一つ成人T細胞白血病(ATL)という病気に関する分子生物学的な研究を手掛けています。

2012年に琉大に赴任し一番最初に手掛けたのが将来の研究に役立てるため、沖縄県内の血液内科医そして患者さんにご協力いただき収集した末梢血、リンパ節から得たATL細胞を凍結保存するバイオバンクの構築です。

今このバイオバンク検体を用いた研究の成果が次々と発表されています。

それぞれの視点と技術で補完し合いながら  
ATLの病因の解明とウイルスの撲滅に  
突き進んでいく

大学院医学研究科及び医学科 細胞病理学講座 教授

【学位】九州大学 博士（医学）  
【専門分野】細胞病理学

加留部 謙之輔 Karube Kennosuke

病気はどうやって発生するのか。この疑問に答えるため、病変組織を直接顕微鏡で「見る」とことによって病気のメカニズムの解明に力を注いでいます。

中でもATLは私の研究テーマの大きな柱になつていて、福島先生が8年かけて集められたバイオバンクのサンプルと僕たちが顕微鏡で見てる病変組織をひとつひとつ比較しながら丁寧に解析することで、ようやく世の中に受け入れられ成果を出すことができました。





動画



アリの世界では、働くのも戦うのも産卵するのもメス。  
アリの生態・分業・経済・社会など、  
アリそのものを知るための基礎的な研究が、  
数年前から日本でも問題となっている  
ヒアリやアルゼンチンアリといった外来アリの  
駆除・防除へと繋がっています。

基礎的な研究・探求がなければ、  
大きな問題が起こったときの  
根本的解決は導かれないと



様々な病原体に対しても  
私達の体の免疫機構がどう攻撃するか

結核菌はエジプトのミイラにも存在していたほど  
古くから人と一緒に存在してきた世の中で一番タフな病原菌。

その結核菌が積極的に免疫反応を抑え込んでしまうメカニズムについて  
分子レベルで研究しています。

熱帯生物圏研究センター  
分子生命科学研究施設（感染生物学部門）教授

松崎 吾朗  
Matsuzaki, Goro

【学位】九州大学 博士（医学）  
【専門分野】分子感染防御学

# コンセプトは”チヤンプリンガル”

グローバル教育支援機構  
国際教育センター准教授

山元 淑乃  
Yamamoto Yoshino

【学位】名古屋大学 博士（教育）  
【専門分野】第二言語習得

留学生と日本人を混ぜる教育として、

英語と日本語を混ぜてジェスチャーも活用し、

どちらが苦手でも全員がついてこれる授業を提供しています。

日本人に多い「ネイティブの様に話したい（ネイティブスピーカーイズム）」は間違いのもと。

もっとストレスなく、伝わる言葉の学習を心理面などから研究しています。



## 全国に先駆けて作られた 大学博物館のひとつ風樹館



風樹館には琉球列島の動物や昆虫、岩石の標本や美術工芸品など、

主に学内で研究された様々な研究資料が収蔵されています。

中でも結縄の一種である「藁算」は、明治時代中期まで

沖縄で文字の代わりに物事を記録するのに使われてきた重要な歴史資料です。

風樹館（博物館） 学芸員 助教

佐々木 健志  
Sasaki Takeshi

【学位】琉球大学 修士（農学）  
【専門分野】保全生態学（稀少昆虫類と外来昆虫）  
民俗学（結縄研究）

# ADMISSION POLICY

琉大が求める人材像

## 人材の育成

- 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

## 求める学生像

- 高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- 自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人



## 人文社会 学部

▶ P15



人文社会学部長  
あん どう よしみ  
安藤 由美

人文社会学部は、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に興味のあるあなたにきっとふさわしい学部です。法学、政治・国際関係学、哲学、教育学、心理学、社会学、琉球とアジアを中心とする歴史・民俗学、言語学、文学など、多彩なプログラムを準備して、皆さんをお待ちしています。

## 国際地域 創造学部

▶ P21



国際地域創造学部長  
いし はら まさひで  
石原 昌英

国際地域創造学部は、グローバルとローカルを併せ持つグローカルな視野によって、地域社会における現代的課題の解決や国内外の産業・文化の振興に寄与できる人材の育成という SDGs に合致した教育目標を掲げています。受験生の皆様、本学部に入學し、「国際」「地域」「創造」が自分にとってどのような意味を持ち、それをどのように組み合わせて自分の学びを究め、卒業後に地域社会、国際社会においてどのような貢献ができるのかを考えてみませんか。卒業までにはその答えが見つかります。

## 教育学部

▶ P29



教育学部長  
はぎ の あつこ  
萩野 敦子

教育学部は、高等教育機関であると同時に教員養成機関です。高等教育機関としては、学士（教育学）という学位を取得する教育課程を編成しています。教員養成機関としては、小学校教諭および中学校教諭の一種免許を取得可能な教職課程を中心に編成しています。学士としての処理能力を修得しながら、それを踏まえた教諭としての職能を培っていく、その意欲を有する諸君の入学を待っています。

## 理 学 部

▶ P33



理学部長  
やま さき ひでお  
山崎 秀雄

科学技術の進歩によって生活が便利で豊かになりました。一方で、新型コロナウイルスや地球温暖化問題のような人類的課題も増えています。理学部では、グローバル化社会に貢献できる地球市民の育成を目指しています。人類共通の言語は、科学と数学です。共通言語である数学、物理、化学、地学、生物の分野を基礎として、沖縄の亜熱帯海洋特性を生かした世界的な研究も展開しています。サンゴ礁の島と一緒に未来を考えてみませんか。

## 医 学 部

▶ P41



医学部長  
つづ い まさと  
筒井 正人

医学部と病院は2025年4月に宜野湾市に移転します。移転に際して沖縄健康医療拠点構想が進められており、医学部では先進医療・地域医療を担う人材や国際的に活躍できる医療人材を育成することを目指して教育を行っています。そのため、地域の病院と連携した充実した臨床実習プログラムを提供したり、海外の研究室や病院に学生を派遣したりしています。医学部の勉強はとてもハードですが、たまには沖縄の自然・文化・社会に触れて息抜きもしながら、琉球大学で楽しい学生生活を過ごしてみませんか！

## 工 学 部

▶ P47



工学部長  
わだ ともひさ  
和田 知久

美しいサンゴ礁の海、年中緑溢れ、空気がおいしく、花粉症もない沖縄。情報通信技術の発達で、そんな自然豊かな場所でも、世界中の最新の情報が簡単に手に入ります。天地自然のルールを数学や物理学でモデリングし、そして頭脳を使ってデザインすることで人類社会に活かしていくのが工学部の学びです。機械・エネルギー・電気・電子・社会インフラ・建築そして知的情報技術を利用して、世界で活躍できる人を真面目に育成しています。

## 農 学 部

▶ P57



農学部長  
わだ こうじ  
和田 浩二

日本で唯一亜熱帯地域に位置する琉球大学農学部！「食料生産」、「環境保全」、「エネルギー」、「生物資源」、そして「健康の維持増進」に関わる多種多様な課題について、地域特性を最大限に活かして意欲的に教育と研究に取り組んでおり、それらは SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも大きな役割を果たすことが期待されています。琉球大学農学部では、亜熱帯の沖縄でしかできない「農学」、総合科学としての「農学」、そしてグローバルな「農学」に興味や関心のある学生を待っています！！

# 人文社会学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

## ■ 国際法政学科

Department of Law, Politics, and International Relations

## ■ 人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences

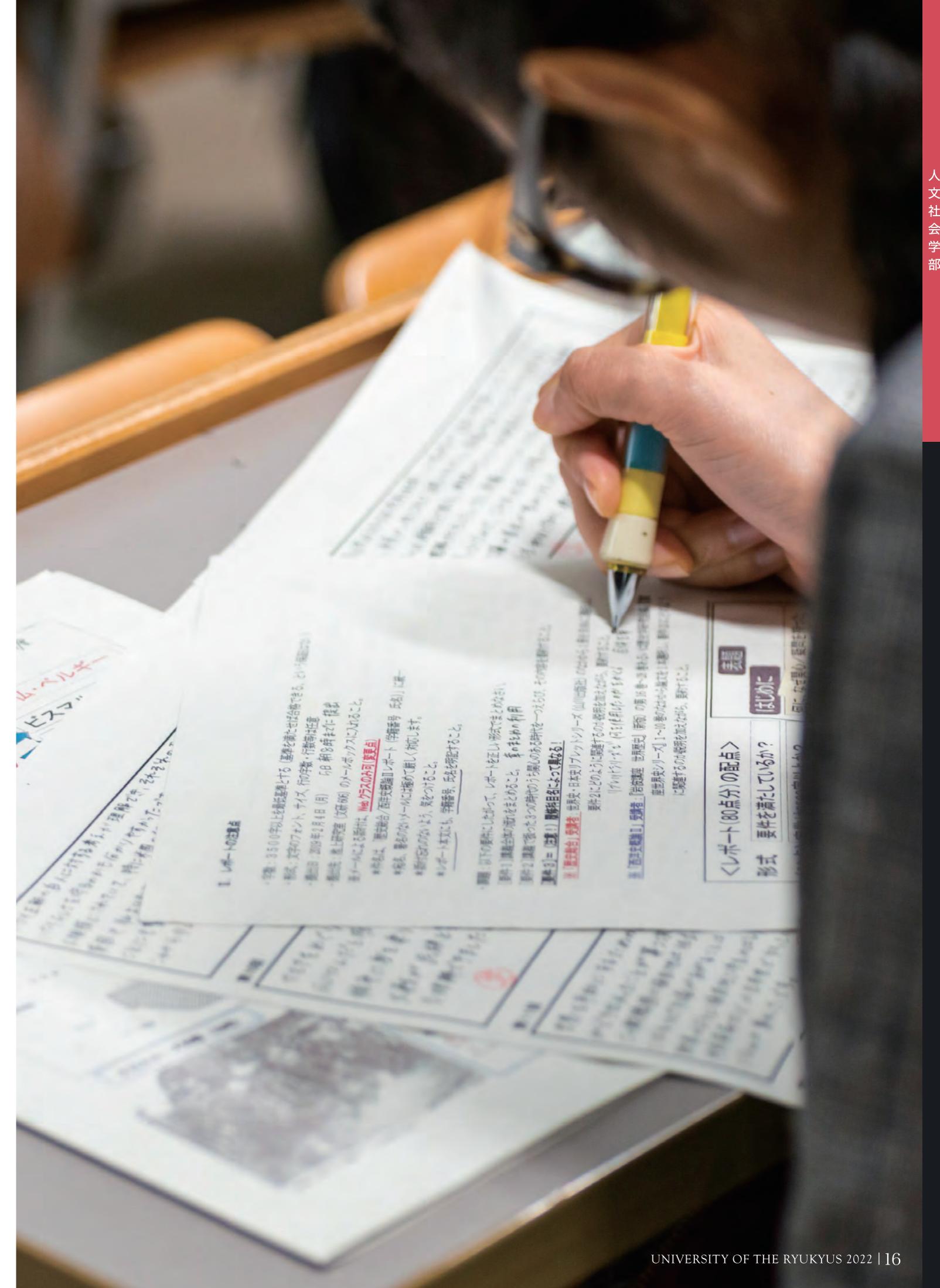
## ■ 琉球アジア文化学科

Department of Ryukyuan and Asian Studies

人文社会学部



現代社会のニーズに対応し  
幅広い分野で活躍できる  
人材の育成を目指す





法と政治、国際関係の「知」から日本・国際社会を考察、俯瞰する

# 国際法政学科

Department of Law, Politics, and International Relations

## Admission Policy [求める人材像]

人間社会や社会諸科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲を持った人を求めていきます。

### ○一般選抜(前期日程)

全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持つために、論理的思考力と外国語能力を十分に身に付けている人を求めていきます。

### ○一般選抜(後期日程)

社会科学を学ぶための基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それを論理的に説明できる人を求めていきます。

### ○学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す)

人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲を持った人を求めていきます。全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それを対話や文書で論理的に説明できる人を求めていきます。

## 研究分野

法学プログラム	● 国際法 ● 刑法 ● 行政法 ● 社会保障法 ● 労働法	● 民事訴訟法 ● 民法
政治・国際関係学	● 政治過程論 ● 比較政治学 ● 日本政治 ● 外交史 ● 行政学	● 国際関係史 ● 国際社会学 ● 国際政治学

人間の考察を中心に、諸問題の解決策を多角的視点から立案できる人材へ

# 人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences

## Admission Policy [求める人材像]

○大学での学びの土台となる基礎学力を持ち、多面的な観点から物事を考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人

○思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、よりよい生き方や教育・市民社会の発展・生活問題の解決に貢献したいと思う人

○すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

## 研究分野

哲学 □ 教育 □ 教育 □ 学	● 教育社会学 ● 哲学 ● 倫理学
□ 心理 □ 心理 □ 学	● 認知心理学 ● 臨床心理学 ● 社会心理学 ● 認知臨床心理学
□ 社会 □ 社会 □ 学	● 社会学 ● 国際社会学 ● 社会福祉学 ● 地域福祉学 ● マスコミ学 ● ジャーナリズム





# 琉大でSDGs



SDGsとは2015年9月に国連サミットで採択された17個の国際目標で、2030年の達成に向けて世界で様々な取り組みが進んでいます。今最もクローズアップされているものである一方で、本質的な理解は進んでいるのでしょうか？

「世代を超えて全ての人が自分らしくより良く生きられる世界を」というキーワードからSDGsの世界観を理解し、大学として何ができるか考えてみました。

## SDGsと琉球大学、SDGsと沖縄。

西田・SDGsが掲げるアジェンダは極めて創造的で時代と歴史を踏まえていますが、もっと大きな視点から物事を考えることにもつながります。

グローバル化が進み、人間は物事を地球規模で考え、未来を見通すことができるようになりました。そこで自分は何ができるか、という視点で考えていくことが大事だと思います。

島袋・SDGsは長い間国連を中心にして議論されてきた人権と保障の国際基準に重きを置いています。沖縄では人権と環境のレベルが非常に低く、国際レベルに上げることは夢物語のように言われますが、これは本来ならば最低限の基準。実現しなければならない社会的基盤なのです。

羽賀・沖縄の高校生は、SDGsの17のゴールのうち、まずは「貧困」、次に「平和と公平」に興味があるようです。全国版だと「地球温暖化」や「気候変動」といった環境系が多いので、これは沖縄の高校生の一つの特徴かもしれません。

沖縄の若者たちとSDGs、そして若者のために琉大ができるること。

西田・SDGsが掲げるアジェンダは極めて創造的で時代と歴史を踏まえていますが、もっと大きな視点から物事を考えることにもつながります。グローバル化が進み、人間は物事を地球規模で考え、未来を見通すことができるようになりました。そこで自分は何ができるか、という視点で考えていくことが大事だと思います。

島袋・SDGsは長い間国連を中心にして議論されてきた人権と保障の国際基準に重きを置いています。沖縄では人権と環境のレベルが非常に低く、国際レベルに上げることは夢物語のように言われますが、これは本来ならば最低限の基準。実現しなければならない社会的基盤なのです。

羽賀・沖縄の高校生は、SDGsの17のゴールのうち、まずは「貧困」、次に「平和と公平」に興味があるようです。全国版だと「地球温暖化」や「気候変動」といった環境系が多いので、これは沖縄の高校生の一つの特徴かもしれません。

沖縄の若者たちとSDGs、そして若者のために琉大ができるること。

西田・SDGsが掲げるアジェンダは極めて創造的で時代と歴史を踏まえていますが、もっと大きな視点から物事を考えることにもつながります。グローバル化が進み、人間は物事を地球規模で考え、未来を見通すことができるようになりました。そこで自分は何ができるか、という視点で考えていくことが大事だと思います。

島袋・SDGsは長い間国連を中心にして議論されてきた人権と保障の国際基準に重きを置いています。沖縄では人権と環境のレベルが非常に低く、国際レベルに上げることは夢物語のようにと言われますが、これは本来ならば最低限の基準。実現しなければならない社会的基盤なのです。

具体的には、下記の人材を求めます。

- 専攻分野の研究資料・情報を収集する能力
- 収集した資料や情報の整理・分析を通して独自の視点から意見を持ちうる能力
- 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表ができる技能
- 他者との議論や意見交換を通して多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢



# 琉球アジア文化学科

Department of Ryukyuan and Asian Studies

## Admission Policy [求める人材像]

研究対象である琉球アジア言語文化圏(沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島)の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる人を歓迎します。

### 研究分野

歴史・民俗学 プログラム	• 琉球史学 • 沖縄近現代史 • 琉球民俗学 • 中琉関係史
文学 プログラム	• 日本古典文学 • 日本近現代文学 • 琉球文学 • 中国文学 • 朝鮮文学
言語学 プログラム	• 日本語学 • 中国語学 • 琉球語学



西田 瞳

琉球大学学長



島袋 純

教育学部教授

沖縄SDGsに関する  
万国津梁会議委員長



羽賀 史浩

研究推進機構  
研究企画室上席URA

学長  
西田 瞳  
×  
教育学部教授  
島袋 純  
ファシリテーター  
羽賀 史浩

島袋・キャップストーン型授業というは凄く重要なです。大学院も修士課程を派遣して政策立案能力強化プログラム」という授業では、沖縄市に学生を派遣して政策立案をさせています。SDGsにおいても能動的に動き、ネットワークを広げ、自分で課題解決をして世の中に対貢献するという態度が非常に重視されるので、大学でその能力を身につけて地域に必要な人材となり、どんどん地域に出ていくことを期待しています。

このような学生の存在には希望が持てるのですが、逆に大学側が学生にがっかりされないようにもつともっと展開しなければ、と思っていますところです。

西田・SDGsが掲げるアジェンダは極めて創造的で時代と歴史を踏まえていますが、もっと大きな視点から物事を考えることにもつながります。グローバル化が進み、人間は物事を地球規模で考え、未来を見通すことができるようになりました。そこで自分は何ができるか、という視点で考えていくことが大事だと思います。

島袋・SDGsは長い間国連を中心にして議論されてきた人権と保障の国際基準に重きを置いています。沖縄では人権と環境のレベルが非常に低く、国際レベルに上げることは夢物語のようにと言われますが、これは本来ならば最低限の基準。実現しなければならない社会的基盤なのです。

羽賀・沖縄の高校生は、SDGsの17のゴールのうち、まずは「貧困」、次に「平和と公平」に興味があるようです。全国版だと「地球温暖化」や「気候変動」といった環境系が多いので、これは沖縄の高校生の一つの特徴かもしれません。

沖縄の若者たちとSDGs、そして若者のために琉大ができるること。

西田・SDGsが掲げるアジェンダは極めて創造的で時代と歴史を踏まえていますが、もっと大きな視点から物事を考えることにもつながります。グローバル化が進み、人間は物事を地球規模で考え、未来を見通すことができるようになりました。そこで自分は何ができるか、という視点で考えていくことが大事だと思います。

島袋・SDGsは長い間国連を中心にして議論されてきた人権と保障の国際基準に重きを置いています。沖縄では人権と環境のレベルが非常に低く、国際レベルに上げることは夢物語のようにと言われますが、これは本来ならば最低限の基準。実現しなければならない社会的基盤なのです。

グローバル × ローカル  
様々な視点を融合させて  
実践的な知の掛け算を

# 国際地域創造学部

Faculty of Global and Regional Studies

## 国際地域創造学科

Department of Global and Regional Studies

- 観光地域デザインプログラム  
Tourism Sciences
- 経営プログラム  
Management
- 経済学プログラム  
Economics
- 国際言語文化プログラム  
Global Languages and Cultures
- 地域文化科学プログラム  
Geography, History and Anthropology

国際地域創造学部



## [求める人材像] Admission Policy

- 地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味を持ち、主体性をもって課題を取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見を交換しつつ実行することができる人。
- 現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心を持ち、自らの感性と経験をとおして他者や社会へと関わり、得られた知見を社会全般に還元する態度を備えている人。
- 21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲を持ち、他者や異文化の持つ多様な価値観に対して柔軟な態度を身に付けている人。





観光と地域について探究し、社会で創造的に活躍する人材を育成する

# 観光地域デザインプログラム

Tourism Sciences

本プログラムは、グローバル化時代が進展する中、持続可能な開発に資する人材、高い学士力を身につけ、現代社会で創造的に活躍できる人材を育成することを目的とします。

観光地域デザインプログラムとは、観光ビジネス、観光政策、自然・文化資源のマネジメント、地域開発など様々な領域から学際的に「観光」「地域」「観光と地域の関係」、あるいはそれらの成り立ちや振興を考える学問領域です。本プログラムでは、サステナブルツーリズム(持続可能な観光)のコンセプトを基盤に、「ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野」「観光地開発分野」「地域資源マネジメント分野」「観光ビジネス分野」の4つの分野を中心に、文理融合型の学際的アプローチによって、観光と地域について探求してゆきます。

2年次後期から始まる本コース独自のプログラムにおいては、観光や地域デザインに関する専門科目を提供するとともに、コミュニケーション能力を高めるために外国語運用能力の向上を重視した科目を提供します。併せてインターンシップ等をキャリア開発のための科目及び、より高度な専門科目を提供し、問題を解決する能力の向上を図ります。



## 研究分野

- 社会医学・ヘルスツーリズム
- 建築環境工学・環境心理学
- 観光社会学・農村社会学・地域社会学
- 観光経済・統計学
- 文化的景観研究・観光景観学・文化遺産学
- 観光産業論・会計情報論
- 保全生態学・生物人類学
- 地域・環境教育論
- 観光経営学
- 観光心理学

「経営」の学びを通して、目標に向かって積極的に行動できる人材を育てる

# 経営プログラム

Management

研究分野

「経営」というと、会社の社長さんや部長さんの仕事で自分とは関係ないことだと思っていませんか？

確かに「経営」とは会社という組織を仕切る仕事を指す場合が多いかもしれません。しかし、「経営」という言葉の意味はとてもシンプルです。それは、「目的を達成するために、継続的に意思決定を行い、実行に移す(大辞泉より引用)」ということです。こう考えると、「経営」という言葉の距離がかなり近くなつたのではないか？例えば自分の所属するサークルやクラブを強くしたり、人々に注目されるようにするのも経営です。あるいは、将来なりたい自分がいて、それを目指して今からどのような筋道をとればその目標に辿り着けるかを考えるのも経営です。

「経営」の出発点として、まずは目指すべく魅力的な目標を設定することが必要となります。それは自分が享受できるメリットを考えることでもあります。そして、目標に向かって進むには、行動に移すためのエネルギーが欠かせません。そのエネルギーとは、自分のやる気、能力、人脈、使える道具や資材、資金、知識、ノウハウなどです。突き進むエネルギーを無駄なく運用することのできる人材になって下さい。

- マーケティング論
- 経営組織論・メディアダイナミクス
- ファイナンス論、財務管理論昇任
- 観光経営
- 流通システム論
- 税法
- キャリア論、組織行動論、サービスマネジメント論
- 経営戦略論
- 人的資源管理論
- 財務会計
- 持続可能な観光開発
- 会計学
- 管理会計論
- 中小・ベンチャーエンタープライズ論
- 技術経営
- 知識経営



経済について幅広く学び、経済学の視点から社会の現状を捉え、解決する力を

# 経済学プログラム

Economics

ビッグデータ、人口知能(AI)、モノのインターネット(IoT)といった新しい技術が次々と生まれ出され、社会は刻一刻と変化し、人々の生活にも大きな影響を及ぼしています。こうした技術が生まれる源は何なのでしょうか？社会は今後、どのように変化していくのでしょうか？そうした中で、私たちはどのように行動していくべきなのでしょうか？経済学を学ぶことで、社会の現状を理解し、その変化の方向を予測し、そこから得られた知見をもとに判断し行動することができます。経済学プログラムでは、基礎的な内容から応用理論に至るまで、歴史(経済史)や政策(社会政策、経済政策)も踏まえながら、経済について幅広く学ぶことのできるカリキュラムを提供しています。また、データを活用した統計分析(計量経済)、社会に出た上で役立つスキルや実践力の習得(実践経済学)にも力を入れています。経済学の視点から社会を捉えることで、社会の仕組みを理解し、地域の抱える問題点を見出し、適切な解決策を提案できるような、そんな人材を目指しませんか。

## 研究分野

- 金融論
- 経済政策
- 財政学
- ミクロ経済学
- 計量経済学
- 社会政策
- 國際経済学
- 開発経済学
- 日本経済史
- マクロ経済学
- データサイエンス、社会・経済物理学
- 西洋経済史

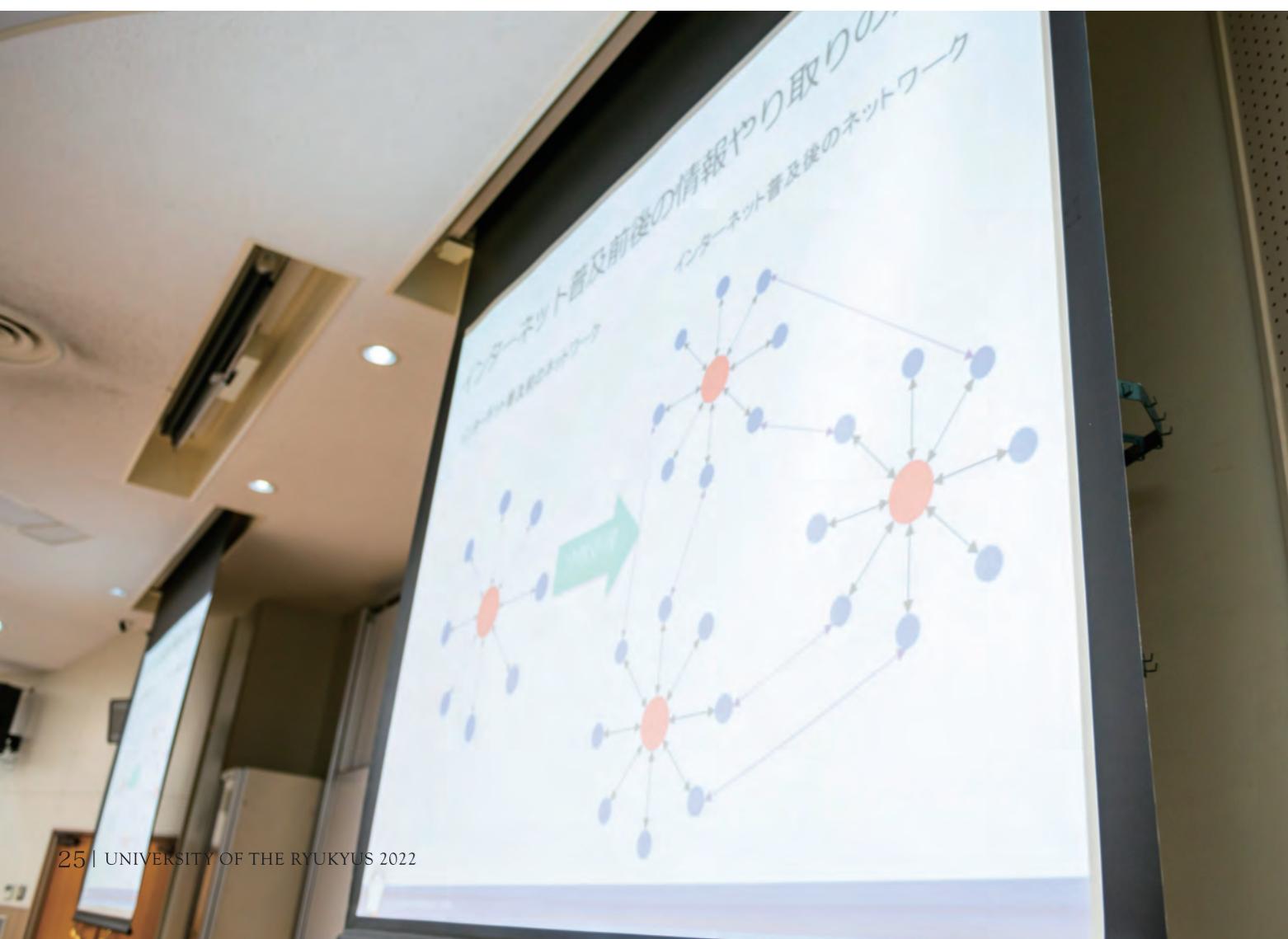
言語、文学、文化の専門的な授業と、高度な外国語運用能力の獲得を目指す

# 国際言語文化プログラム

Global Languages and Cultures

## 研究分野

- アメリカ文学・文化
- ジェンダー研究
- 英文学・イギリス文化
- 言語学・英語学
- 社会言語学・言語政策
- 形式意味論
- 琉球語
- 応用言語学・第2言語習得論
- 英語教育学
- コミュニケーション学
- 異文化コミュニケーション
- 非言語コミュニケーション
- 談話研究
- ドイツ文化・歴史
- ドイツ語学・教授法
- ドイツ文学・音楽・芸術
- フランス文学・文化
- フランス語学・教授法
- スペイン文学
- スペイン語圏歴史・文化・社会
- ヨーロッパ研究・EU研究
- 日本語学・日本語教育学
- 日本文化
- 國際事情





# 琉大でSDGs

## 私とSDGs

琉大でSDGsをキーワードに活躍する学生と教員。彼らの思いとは？

資料解読やフィールドワークを通して、「地域」や「文化」について総合的に学ぶ

## 地域文化科学プログラム

Geography, History and Anthropology

地域文化科学プログラムでは「人間」について、空間、時間、文化とのかかわりから学ぶことができます。ただし単なる理論だけでなく、古文書や図像などの史料解読を通して、さらに巡査や現地調査・発掘、聞き取り・参与観察などのフィールドワークを通して学べるプログラムです。またGISなどの地図に関するスキルも身につけることができます。

本プログラムは複雑・緊密化する世界を地理学、歴史学、人類学の最新の研究成果をもとに、総合的に理解することを目指しています。史料に親しみ、フィールドに出かけ、人類が培った我々へのメッセージ、現代に生きる人々の多様な暮らし方、さらにそれらが置かれた環境などについて考えていきませんか。

### 研究分野

- 博物館学
- 社会人類学・比較民俗学
- 東洋史
- 民俗学
- 自然地理学・水文地形学
- 人文地理学
- 西洋史学
- 社会人類学・民俗学
- 考古学
- 日本近世史・歴史教育
- 地形学
- 人文地理学・地理学方法論

〈総合環境学副専攻〉  
国際地域創造学部  
准教授  
大島 順子



「この島でずっと生きていくためには？」を身近なキャンパスから考える。  
環境問題は自然だけでなく、人間社会、社会活動など、広く環境の意味を捉えた上で地球規模の問題として解決策を考えるべきです。「この島でずっと生きていくには？」を学生たちと考え、色々取り組んでいます。琉大的学部を超えた横断的な学びを経験した学生たちに、私も触発されていますね。

エコキャン×SDGs

エコキャンの活動はこちら



<https://ecocan-ryukyu.amebaownd.com/>

幅広い視点からの活動を自分から。

環境問題やボランティアに以前から興味があったので、琉大の環境対策やエコキャンを知り、参加することにしました。エコキャンでは活動の際にSDGsとの関連を意識し、幅広い視点から活動を行っています。私は以前は一参加者でしたが、今では自分で企画して周りを巻き込み、一緒に活動しています。

農学部  
地域農業工学科 2年  
玉城 可奈恵さん



リサイクルと地域貢献をつなぐ。

最初は副専攻の単位取得だけのつもりでしたが、結局ずっと続けることに(笑)。一番力を入れたのがリリパック。回収率を上げるためにMESHサポートに寄付することにしました。リサイクル、地域貢献の両方が達成でき、大学という小さな社会ではありますが、僕の理想が実現できたかなと思っています。

法文学部  
人間科学科 2年  
エコロジカル・キャンパス  
学生委員会  
幸地 佑朔さん



地域と行政と企業と、そして大学をアジャストする。

以前、役所にいたときから地域問題に関心があり、今は琉大の内側からアプローチしています。昔一緒に仕事をしていた方と今も繋がっていて、行政や企業のニーズをもわかるので、どのような形でアジャストしていくかを課題にしています。その最初のちょっとした調整や機会づくりなどを手伝いていきたいです。

〈地域創生副専攻〉  
地域連携推進機構  
准教授  
小島 肇



今できることを考え、大学に留まらない活動を。

沖縄のことを学ぶために副専攻を履修しました。そこで色々な自治体や企業の取り組み、実際に地域で熱い想いを持って活動している人の存在を知りました。自分が今何ができるのかと考え、大学の外の事業に参加し、その中で少しづつステップアップし、どんどん大学の外に飛び出して活動しています。

法文学部 4年  
人間科学科  
金城 愛弥さん



SDGsを通して新しいリーダーを育てる。

グローバル津梁副専攻では17のSDGsを個別に追求するのではなく、全体を見渡し複合的に考える力をつけたリーダーを育成します。例えばコロナ禍における経済と公衆衛生のように、それぞれは人類のウェルビーイング(Well-Being)を目指すものであっても、互いに対立する要素が少なくありません。こうした場合アクセルとブレーキを使い分けるシステム思考が必要になってきます。このように複合的な問題のアプローチを細分化し、それを組み合わせて最善の結果を導くリーダーが必要なのです。

〈グローバル津梁プログラム副専攻〉  
国際地域創造学部  
教授  
石川 隆士



ハルトプライズを通して学生に挑戦の機会を。

タイに留学中に、学んだものをアウトプットすることを学びました。その中で、日本にはまだ普及していないハルトプライズを知り、琉大を持ってきました。新型コロナの状況下で、みんなが英語を使って社会企業について考える場所を作りたい、沖縄のすべての学生に平等で挑戦できる機会を作りたいと思っています。

総合社会システム学科 4年  
ハルトプライズ  
琉球大学代表  
法文学部  
銘苅 隆磨さん



質の高い議論を日本でも。

新型コロナで海外インターンシップから急に帰国することになり、急にやることがなくなってしまったボカンとしていました。その時にハルトプライズのことを知りました。日本にも、インターンシップ中に参加した、質の高い議論をする場が欲しいと思いました。今は運営と一緒に参加者、両方の立場を楽しんでいます。

観光産業科学部  
観光科学科 3年  
知念 杏珠さん



多様な人が1つのゴールに向かう楽しさ。

昨年5月の緊急事態宣言下で、モチベーションの維持が難しくなってきた時にハルトプライズに参加しました。そこには学部もバックグラウンドも出身・居住国も全然違う人など多様性にあふれるコミュニティができていて、その人達が1つのゴールに向かって違う見解から攻めていくのがとても面白いです。

理学部  
海洋自然科学科 4年  
高橋 りなさん



子どもに寄り添い  
学びと育ちを支える力を  
総合的に身につける

# 教育学部

Faculty of Education

## 学校教育教員養成課程

Elementary and Secondary School Teacher Training Program

- 小学校教育コース
- 中学校教育コース
- 特別支援教育コース

教育学部





学校が抱える教育の多様な課題に向き合い、柔軟かつ力強く対応する専門家の養成に向けて

# 学校教育教員養成課程

Elementary and Secondary School Teacher Training Program

## 4年間の学び

これらは教育学部で学べる科目のほんの一例です。ここに書かれている以外にも、各専修からさまざまな科目が提供されています。

教育について多角的に学べる科目	小学校教員になるための科目	中学・高校教員になるための科目	子どもを知るための科目	教職実践系の科目
● 教職入門	● 国語概説	● 国語科教育法	● 子どもの世界・学びの世界	● 教職体験 I
● 教育原理	● 初等国語科教育法	● 日本文学概論	● 理解と表現の基礎的スキル	● 教職体験 II
● 教育課程	● 社会科要説	● 社会科教育法	● 小学校教育フィールドワーク	● 介護等体験指導
● 教育方法	● 初等社会科教育法	● 日本史概論	● 小学校教育研究研究	● 学校教育実践研究
● 教育心理学	● 数学概論	● 数学科教育法	● 子どものからだと動き	● 小学校教育実習
● 特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	● 初等算数科教育法	● 代数学序論	● 子どもと生活のなかのことば	● 中学校教育実習
● 総合的な学習の時間の授業づくり	● 自然科学概論	● 理科教育法	● 乳幼児教育学	● 特別支援学校教育実習
● 特別活動論	● 初等理科教育法	● 物理学実験	● 子どもと自然体験活動	● 幼稚園教育実習
● 生徒指導論	● 音楽	● 音楽科教育法	● 子ども読書論	● 高等学校教育実習
● 教育相談	● 初等音楽科教育法	● 音楽基礎理論	● 特別支援教育概説	● 教職実践演習
● 学校カウンセリング	● 小専美術	● 美術科教育法	● 知的障害者の心理	● 教育実践フィールドワーク
● 道徳教育の理論と実践	● 初等図工科教育法	● 美術理論・美術史基礎	● 自閉症障害者教育総論	● 教職インターンシップ
● 教育行政学	● 体育	● 保健体育科教育法	● 模擬授業	
● 学校社会学	● 初等体育科教育法	● 生理学・運動生理学		
● 教育の制度	● 家庭	● 技術科教育法		
● 離島・へき地教育概論	● 初等家庭科教育法	● 基礎製図		
● 子どもと多言語・多文化教育	● 外国語	● 家庭科教育法		
● 新聞活用講座	● 初等外国語教育法	● 食物学		
● 和平教育学概論	● 生活科教育概論	● 英語科教育法		
	● 初等生活科教育法	● 英米文学概論		

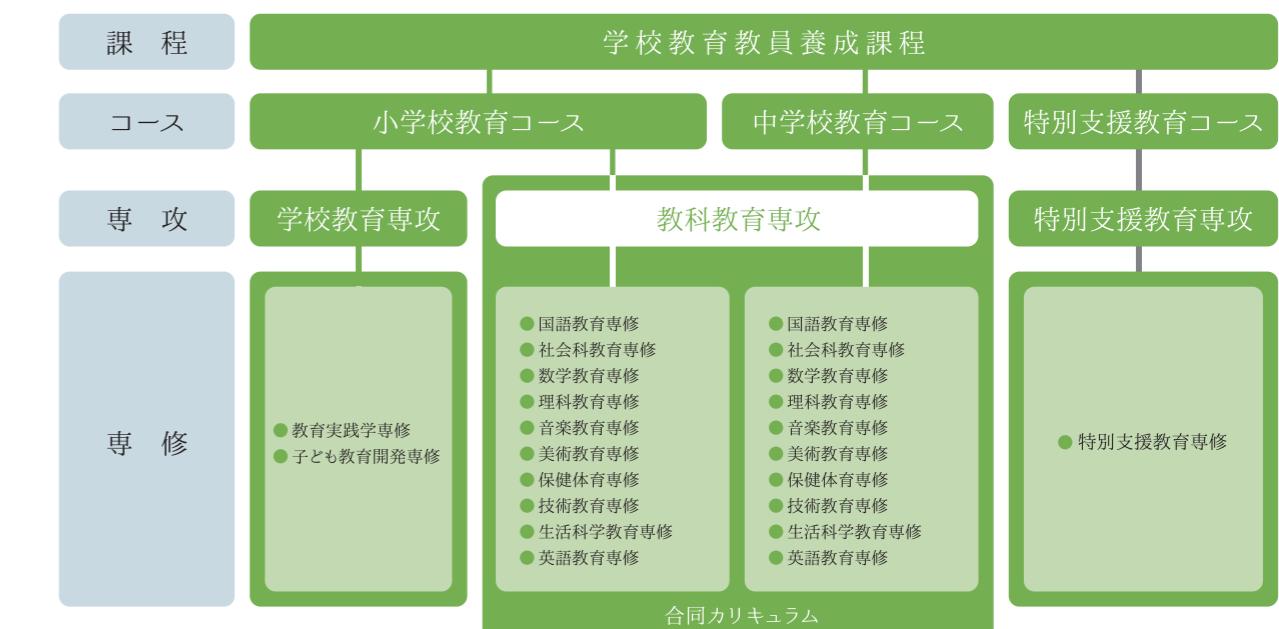


## Admission Policy [求める人材像]

本学部は、1 課程(学校教育教員養成課程) 3 コース(小学校教育コース・中学校教育コース・特別支援教育コース)からなります。

学校教育教員養成課程では、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今目的な問題に真剣に取り組もうとする、次のような人材を求めています。

- 教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人
- 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- 高等学校での基礎学力を身に付け、思考力、判断力、表現力を持つ人
- 沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人



小学校教育コース	中学校教育コース	特別支援教育コース
学校教育専攻 <b>教育実践学専修</b>	学校教育専攻 <b>子ども教育開発専修</b>	教科教育専攻 <b>各教科教育専修</b>
実践と理論とを往復的に学ぶ機会を繰り返し提供し、そこで得た学修の成果を子ども一人一人に対応・還元できる指導力にまで高め、児童の豊かな学びの創造に結びつけていきます。	実践的指導力(授業力)の支えとなる教材への解釈力と教材からの展開力を、専門系・教育系学修のスパイラルにより身につけます。また、実際の授業現場を観察・経験する機会を多く提供します。	小・中学校を見通し、探求する喜びを育む“学び”を構想できるよう専門性を高め、多くの現場体験を通して発達段階や生活環境など諸問題への認識と、教科の壁を越え同僚と協働できる姿勢を習得します。

亜熱帯島嶼の特性を活かした  
特色ある教育研究で  
様々な問題を解き明かす

# 理学部

Faculty of Science

## ■ 数理科学科

Department of Mathematical Sciences

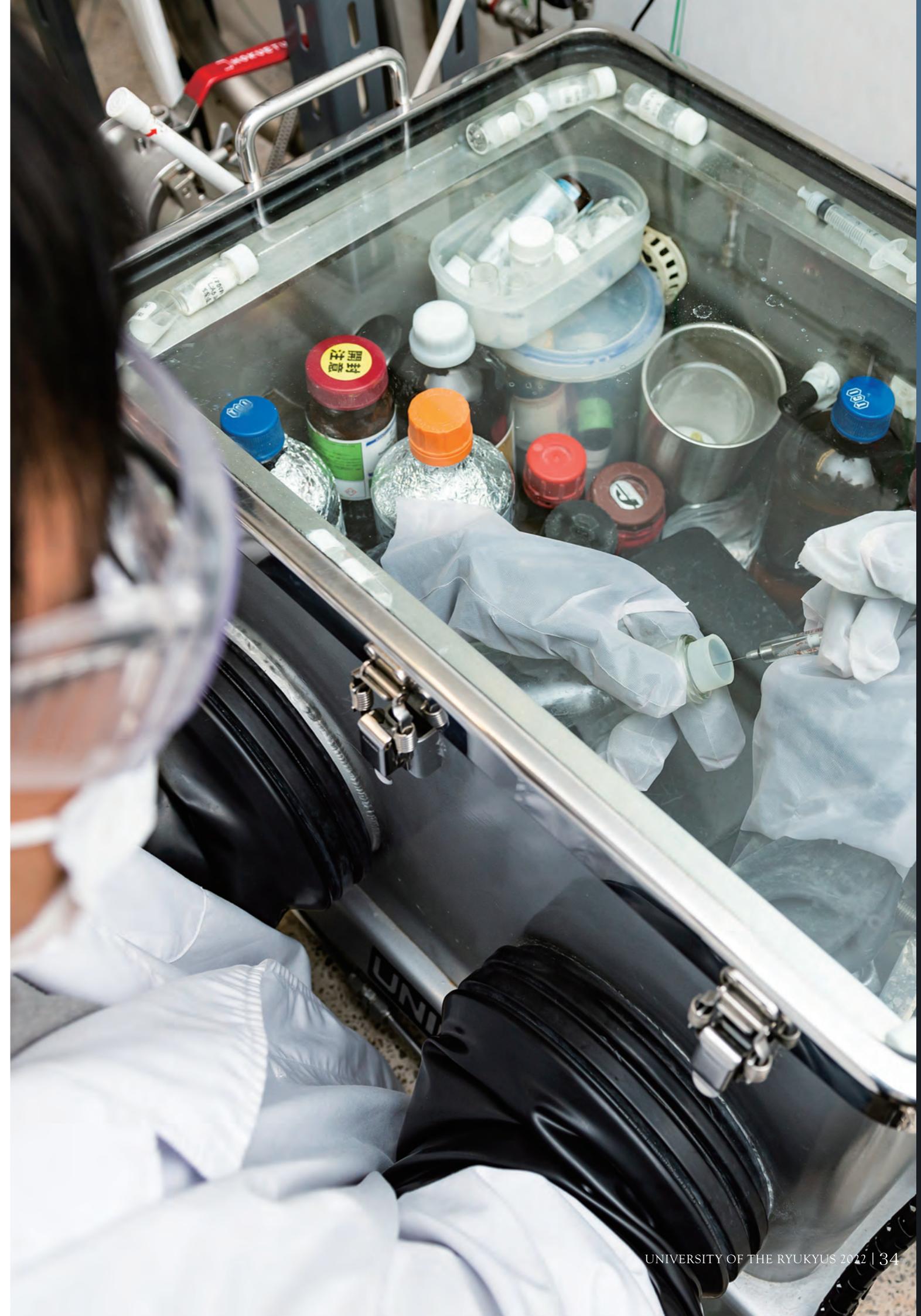
## ■ 物質地球科学科

Department of Physics and Earth Sciences

## ■ 海洋自然学科

Department of Chemistry, Biology and Marine Science

理学部



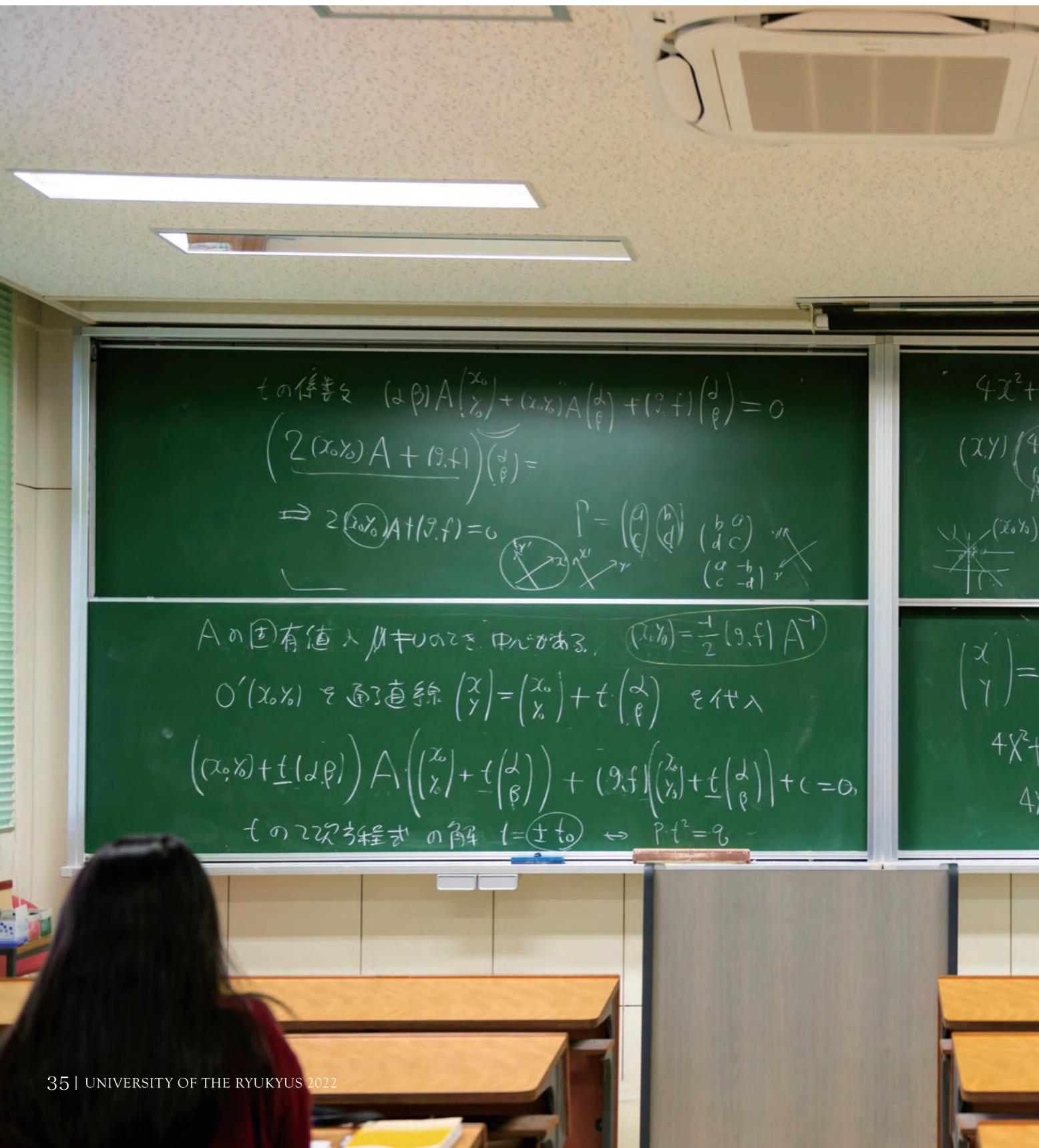


現代社会を支える情報・科学技術の発展を担う数学の専門家を養成するための教育を展開

# 数理科学科

Department of Mathematical Sciences

理学部



## Admission Policy [求める人材像]

数理科学科では教育理念に基づいて、次のような人を求めてています。

○基礎的な数学の知識・思考力を備えている人

○未知の数学に対する好奇心が旺盛である人

○強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人

## 研究分野

- |         |         |         |        |
|---------|---------|---------|--------|
| ● 代数幾何学 | ● 関数解析学 | ● 整数論   | ● 暗号理論 |
| ● 位相幾何学 | ● 特殊関数論 | ● 双曲幾何学 | ● 組合せ論 |
| ● 作用素環論 | ● 表現論   | ● 大域解析学 |        |
| ● 確率論   | ● 数理統計学 |         |        |



高校で学ぶ三角関数や微分積分は医療機器であるCTスキャンに応用されています。インターネットの暗号通信には整数論や符号理論が使われています。確率論は経済学に応用され、保険数理人(アクチュアリー)になるには統計や確率の学修が必須です。このように、現代社会を支える情報・科学技術の運用には“大学で数学を修めた人材”が必要不可欠とされており、数理科学科ではコンピュータ関連をふくむ広範囲な分野の数学が学べるようになっています。また、数理科学科では中学校や高校の数学教員の養成も目標のひとつにしており、生徒が抱きがちな「なぜ数学をまなぶのか?」といふ疑問に向きあい、答えることができる教育理論の修得にも注力しています。

物質・素粒子・宇宙から大気圏・水圏・岩石圏まで  
物理系と地学系の各分野に広がる専門学修

# 物質地球科学科

Department of Physics and Earth Sciences



## 物理系

物理学には物質の電気的、磁気的、光学的な性質などを研究する物性物理学、素粒子とその運動法則を探求する素粒子物理学、宇宙を対象とする宇宙物理学などの分野があります。物理系ではそういった分野の基礎が学べる科目を配置し、物理学を体系的に理解していきます。

上空の大気圏、海洋を主とした水圏、地上・地下の岩石圏、これらでの現象について、地質学・物理学・化学・生物学などの手法を用いて研究します。また、海に囲まれた亜熱帯島嶼という沖縄の特性を活かし、琉球島弧や周辺の海底の地質とその成り立ち、火山・地震の活動、サンゴ礁海域の地学的環境問題、黒潮、亜熱帯気象、台風などが研究できるのも特色のひとつです。

### 研究分野

<b>物理系</b>	物理系
<b>地学系</b>	地学系

- 物性理論
- 宇宙物理学
- 数理物理学
- 固体物性
- 固体物理
- 素粒子論
- 凝縮系物理

- 海洋物理学
- 氣象学
- 海洋底地球物理学
- 海洋環境地学
- 海洋微古生物学
- 岩石鉱物学
- 地震学
- 古生物学

### Admission Policy [求める人材像]

#### 物理系

物理系では教育理念・目的に基づいて、次のような人を求めています。

- 基礎学力を備え、科学的好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人
- 科学的な基礎知識や思考法を学び、それらを社会人として生かしたい人
- 物理系の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨く人

#### 地学系

地学系では地球と海洋に関する自然現象に興味を持ち、意欲的に地球科学の知識を身に付け、探究心に富む人を求めています。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めます。

亜熱帯島嶼・海洋地域の特性を活かした教育により  
人と自然の共生に寄与する人材を育む

# 海洋自然科学科

Department of Chemistry, Biology and Marine Science



## 化学系

物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、海洋化学を学び、多様な物質の反応や構造、機能を分子科学的に学びます。また、物質の物性や構造、水素エネルギー、化学センター、新規物質の創成に関する基礎研究、越境物質の大気化学など亜熱帯島嶼・海洋の地域特性を活かした研究を行っています。

### 研究分野

<b>化学系</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 錯体化学</li> <li>● 分析化学</li> <li>● 物理化学</li> <li>● 無機化学</li> <li>● 機能材料化学・電気化学</li> <li>● 水素貯蔵材料化学</li> <li>● 環境化学</li> <li>● 有機化学</li> <li>● 有機合成化学</li> <li>● 天然物化学</li> <li>● 海洋天然物化学</li> <li>● 地球化学</li> <li>● 光化学・有機物理化学</li> <li>● 有機金属化学</li> <li>● 海洋無機化学</li> <li>● 界面化学</li> </ul>	
<b>生物系</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物分類学</li> <li>● 動物生態学</li> <li>● 植物系統進化学</li> <li>● 植物生態学</li> <li>● サンゴ礁生物生態生理学</li> <li>● サンゴ礁学・生理生態学</li> <li>● 海洋環境学</li> <li>● 藻類細胞生物学</li> <li>● 海洋生態学</li> <li>● 魚類学(魚類の生活史)</li> <li>● 植物細胞生物学</li> <li>● 分子生理学</li> <li>● 藻類学</li> <li>● 環境生理学</li> <li>● サンゴ礁生物生理学</li> <li>● 魚介類分子遺伝生態学</li> <li>● 海洋無脊椎動物学</li> <li>(生体・形態・系統分類学)</li> </ul>	

## Admission Policy [求める人材像]

### 化学系

化学系では琉球大学の求める学生像に従い、自然を化学の目を通して見ることに興味を持ち、本系が提供する教育カリキュラムで修得した知識や技術等を社会に還元し、学術研究の後継者、産業界をリードする技術者及び化学の教育を担う教師のみならず教育界のリーダー的存在となる人材を求めています。したがって、化学系では次のような資質を持った人を求めています。

- 物質や自然環境の成り立ちについて興味を持っている人
- 化学を学ぶための基礎知識を備えた人
- 修得した化学の知識や技術等を社会に役立てたい人

### 【一般選抜】

上記の基本方針に基づき、基礎的な学力と思考力を備え、琉球大学で学ぶ強い意志を有し、本系で修得した知識や技術等を社会の役に立てたいという意欲のある人を求めています。

### 【学校推薦型選抜】

上記の基本方針に基づき、一般選抜と同等の基礎学力を有し、自然を探求することに意欲的な人を求めています。



## 生物系

琉球列島の自然環境を活かし、多様な生命現象と基本原理の理解をもって、さまざまな分野で生物学の学識と技能を発揮する人材を育成します。またサンゴ礁・島嶼生態系の包括的な理解と保全をめざした研究を進め、生物多様性と生命現象の基本原理解明に向けた多角的・総合的研究を開いています。

### 生物系

生物系では、地域国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境を持つ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究を行っています。こうした理念のもと、生物系では次のような人を求めています。

- 多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- 自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人
- 生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人

学校推薦型選抜では、これらに加えて、海洋の生物資源にも興味のある人を求めています。

医学と保健学に関する  
専門知識と技術を修得し  
地域医療水準の向上を目指す

# 医学部

Faculty of Medicine

■ 医学科  
School of Medicine

■ 保健学科  
School of Health Sciences





高度な学術能力に豊かな人間性を兼ね備え、人々から信頼される医師を育む

# 医学科

School of Medicine

医学部



医学科は医学に関する専門の知識と技術を修得すると共に高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応できる医師や研究者を育成することを目的としています。加えて、沖縄県の自然的・地理的、および歴史的な特性をふまえ、島嶼環境における地域完結型医療の構築に努めます。また、国際性豊かな医学部・医学科として、アジアを中心とする諸外国・地域との学術交流を通じ、国際医療に寄与することもめざします。あわせて入学試験も通常の「前期・後期」の他、「学校推薦型選抜(地域枠)」と「2年次特別編入学(学士入学5名)」の計3種類を実施、多様な個性が切磋琢磨しあう環境を提供しています。

1年次 2年次 3年次 4年次 5・6年次

- ・医学科は基礎系と臨床系の分野が有機的に関連しつつ教育・診療・研究の体制を整え、6年間の一貫教育を行います。
- ・4年次1学期までは基礎医学系、臨床医学系の基礎的知識の修得、実験、実習が主となり、4年次2学期から患者さんを対象とした臨床実習を指導します。
- ・5年次の総合試験Ⅰ、6年次の総合試験Ⅱ、Ⅲを経て医師国家試験を受験します。これに合格して初めて医師となりますが、2年間は初期臨床研修が義務づけられています。
- ・その際、各診療科は他の教育関連病院や地域医療施設と協力して卒業生の研修を指導します。
- ・研修後、多くは大学病院や他の病院の臨床医として、さらに研磨を重ねます。医学の知識を活かして医系技官等に進む道もあります。
- ・また、臨床や生命科学、社会医学の発展をめざして研究に取り組む卒業生も多く、そのために大学院博士課程へ進学するのも選択肢のひとつです。

共通教育科目と専門教育を並行して学ぶ	なぜ病気になるのかメカニズムを理解する	医学全体を俯瞰できる力を養う	臨床実習のための共用試験に挑む	多様な実習を経て医師国家試験合格を目指す
共通教育科目と並行して専門教育もスタート。前期は分子細胞生物学など医学の基礎知識・最新医学トピックを学びます。早期体験学習を経て後期は、人体の構造と機能、解剖学実習など基礎医学を学びます。	微生物・免疫学、薬理学などの基礎医学講義・実習を通じ病気が発生するメカニズムを学びます。後期には臓器別・部位別の臨床講義が始まります。医学外語では論文情報収集・解析法を学びます。	3年次は臨床医学系講義に加え、離島地域病院実習と12月から基礎教室を中心とした医科学研究に取り組みます。教室で国内外の研究室の紹介を受け、医学研究を深める制度も用意しています。	前期は臨床推論、基本的臨床手技を学びます。衛生学・公衆衛生学など医学総論を受け、臨床実習実施前に標準評価試験として共用試験を実施します。試験合格者は後期より臨床実習に臨みます。	各診療科病院実習、内科などプライマリケアを中心クリニカルクラークシップに臨み、医師業務に近い実習に参加します。総合試験などに合格し卒業見込みとなれば医師国家試験を受験します。

## Admission Policy [求める人材像]

### 【一般選抜】

- 地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人
- 常に自己点検を行い、自己啓発ができる人
- 創造性に富み、物事を理論的に整理・展開できる人
- 医学を学ぶ基礎学力を有する人
- 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

### 【学校推薦型選抜】

- (大学入学共通テストを課す)(地域枠)
- 沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人
- 地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人
- 学習意欲の維持並びに自己学習ができる人
- 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

入学後に行う看護学か検査技術学のコース選択により、  
地域や国際社会に貢献する保健医療福祉の専門職者へ

# 保健学科

School of Health Sciences



保健学科は、生命尊重の倫理観、科学的根拠に基づく実践力を有する看護師や臨床検査技師などの保健医療福祉の専門職者、および研究者・教育者の育成を目指しています。保健医療福祉の分野が対象とする国際社会や地域、個人には、多様な歴史背景、価値観、健康に関するニーズがあることから、生命倫理だけでなくこれらの問題にも対応できる人材を養成するための専門的な教育も充実させています。さらに保健医療福祉の専門職者に不可欠な生涯にわたる学習ができるよう、学生の自主性、思考力、探求力、問題解決能力を高める取り組みも行っています。入学試験では「前期・後期」のほか、「学校推薦型選抜」、「帰国生徒」、「私費外国人」の計4種類を実施し、多彩な人材の獲得にも努めています。このように保健学科では、多種多様な学生がお互いを高めあいながら、日々研鑽を積んでいます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
保健学 共通科目	主に大学の共通教育等科目を履修します。	「看護学コース」と「検査技術学コース」にわかれ、それぞれの専門科目を学修しながら病院、地域、学校などで臨地実習を行います。	3・4年次は各自が興味のある研究室で教員の指導を受けて卒業研究に取り組みます。なお保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師の国家試験受験資格の取得の他、養護教諭や健康食品管理士の養成も行っています。	
看護学 コース	●生命倫理学や解剖学・組織学、生理学、保健福祉政策論、保健関係法規等を実施。	●疫学、薬理学、免疫学を実施。	●卒業研究に取り組む。	●卒業研究に取り組み、後期の発表後は各自、国家試験の準備を本格化する。要望に応じて、教員による国家試験対策授業を実施。
検査 技術学 コース	●第2クォーターに看護学概論、第4クォーターに生活援助看護技術Ⅰおよび生活援助看護技術実習Ⅰを病院で実施。	●症候病態論、小児・母性・成人・高齢期等の看護師に必要な科目を実施。保健師や養護教諭の希望者を対象とする選択科目・教職科目を開始。	●小児・母性・成人・高齢期・精神・在宅看護学、緩和ケア論等の看護師に必要な科目を実施。第4クォーターに在宅・母性看護学臨地実習を実施。	●第1・2クォーターに小児・精神・成人急性期・成人慢性期看護学実習等の看護師に必要な臨地実習を実施。第3・4クォーターに助産師、保健師、養護教諭に必要な臨地実習を実施。

## Admission Policy [求める人材像]

本学科は看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野でリーダーシップを発揮し、活躍できる人材の育成を目指します。

そのため、以下の資質を備えている人を求めています。

- 生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人
- 生命を尊重し、相手の身になって行動できる人
- 自らの目標に向かって自己啓発し、多様な人々と協働ができる人
- 論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人

生活を豊かにする工学技術を学び  
社会に貢献

# 工学部

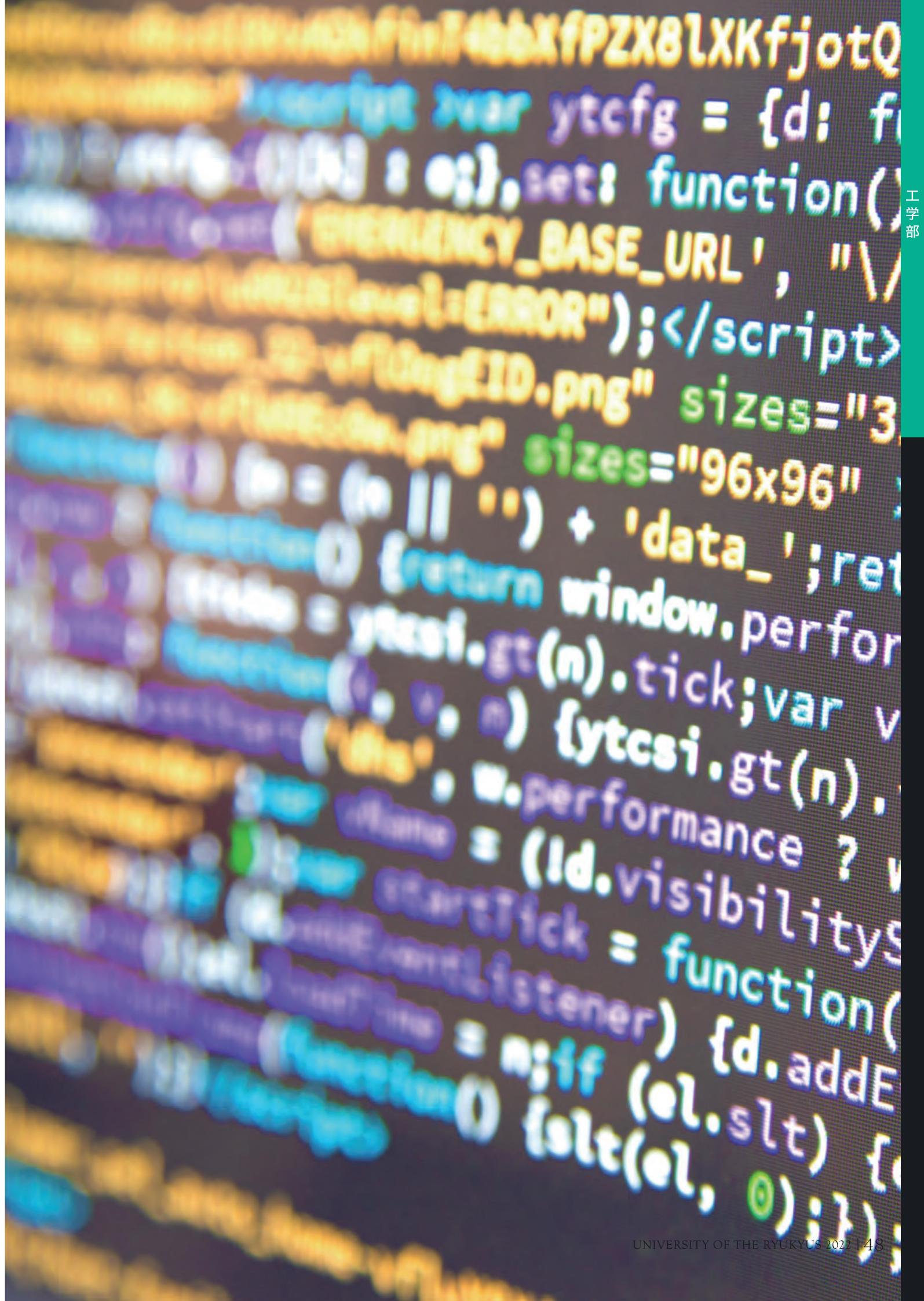
Faculty of Engineering

## 工学科

School of Engineering

- 機械工学コース  
Mechanical Engineering Program
- エネルギー環境工学コース  
Energy and Environment Program
- 電気システム工学コース  
Electrical and Systems Engineering Program
- 電子情報通信コース  
Electronic and Communication Engineering Program
- 社会基盤デザインコース  
Civil Engineering Program
- 建築学コース  
Architecture and Building Engineering Program
- 知能情報コース  
Computer Science and Intelligent Systems Program

工学部



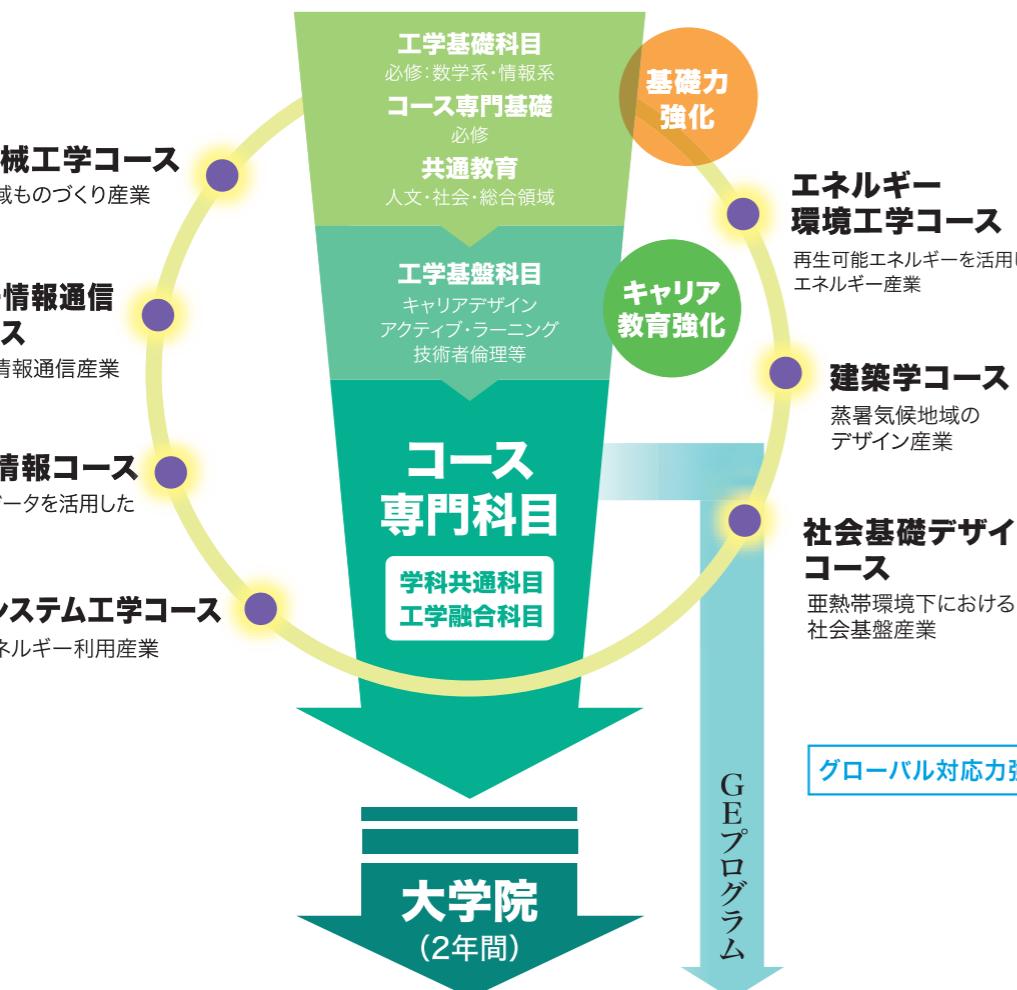


新産業や新たな価値の創造に取り組む7コースと6年間一貫教育のGE\*プログラムを設置

\*Global Engineer / グローバルエンジニア

# 工学科

School of Engineering



**強みを活かした人づくりと研究力・開発力強化で  
安心・安全で豊かな地域社会の実現をリード**

## Admission Policy [求める人材像]

- 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身に付けた人
- 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身に付けている人
- 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

### 【一般選抜(前期日程、後期日程)】

十分な基礎学力を有し、特に数学ならびに物理に優れている人。

### 【総合型選抜】

十分な基礎学力を有するとともに、高いコミュニケーション能力をもち、各コースの専門分野に対する学習意欲が強い人。自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に活動してきた人。

### 【学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す)】

十分な基礎学力を有し、高等学校において優秀な成績を修め、積極的に活動してきた模範的な人。各コースの専門分野への強い向学心を有する人。

従来の機械システム工学を学びつつ、次世代の“ものづくり”におけるスペシャリストを養成

# 機械工学コース

Mechanical Engineering Program

機械工学コースでは、ものづくりに関する科目を初年次から体系的に学んでいくことが可能で、材料力学、機械材料および加工学、流体力学、熱力学、機械制御などの広範囲におよぶ機械工学の基礎を学び、多様な分野への応用ができるようになっていきます。機械工学はあらゆる産業の基幹となり、就職先からのニーズも高く、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。グループワークによる実践的な科目を通じ、コミュニケーション、問題解決、自立した“ものづくり”能力を育むことができます。

## 研究分野

- |                          |            |                |            |
|--------------------------|------------|----------------|------------|
| ● 金属疲労                   | ● 無機材料     | ● 流体計測         | ● バイオディーゼル |
| ● 材料の損傷検知                | ● 超音速流れ    | ● マイクロバブル      | ● 燃料電池     |
| ● 数値シミュレーション             | ● 衝撃波      | ● 熱物質移動工学      | ● パソコンの冷却  |
| ● ゴムの力学                  | ● ジェットエンジン | ● 太陽熱利用        | ● 知的制御     |
| ● 亜熱帯資源(バガス、月桃等)を用いた複合材料 | ● 数値流体力学   | ● 海水濃縮技術       | ● 自動車の自動操縦 |
| ● 高分子工学                  | ● 亂流制御     | ● エネルギーの有効利用   | ● 海洋ロボット   |
|                          | ● 流れの可視化   | ● 内燃機関(エンジン)工学 | ● ロボット制御   |



さまざまな分野のエネルギー環境問題を  
総合マネジメント力で複合的に解決できる知識と技術を学ぶ

## エネルギー環境工学コース

Energy and Environment Program

エネルギー環境工学コースは、将来のエネルギー供給や環境保全・共生など、私たちが生きていくうえで重要な課題となっている、いわゆるエネルギー環境問題を機械・電気工学という学問によって解決しようとする人材を育成します。環境に配慮した材料などの専門的知識を駆使し、効率的なエネルギー変換や制御、環境負荷を低減する技術の開発を行い、さまざまな分野での利用へつなげていく統合マネジメント力とコミュニケーション基礎能力のある技術者にまで成長することをめざします。

### 研究分野

- 流動及び熱・物質移動工学
- 数理工学
- 材料加工学
- 热力学
- 材料力学
- 塑性力学
- 流体工学
- 分子熱流体工学
- 制御工学
- 相転移論

再生可能エネルギーやスマートヘルスケア、私たちの豊かな暮らしを電気システムでもっと豊かに

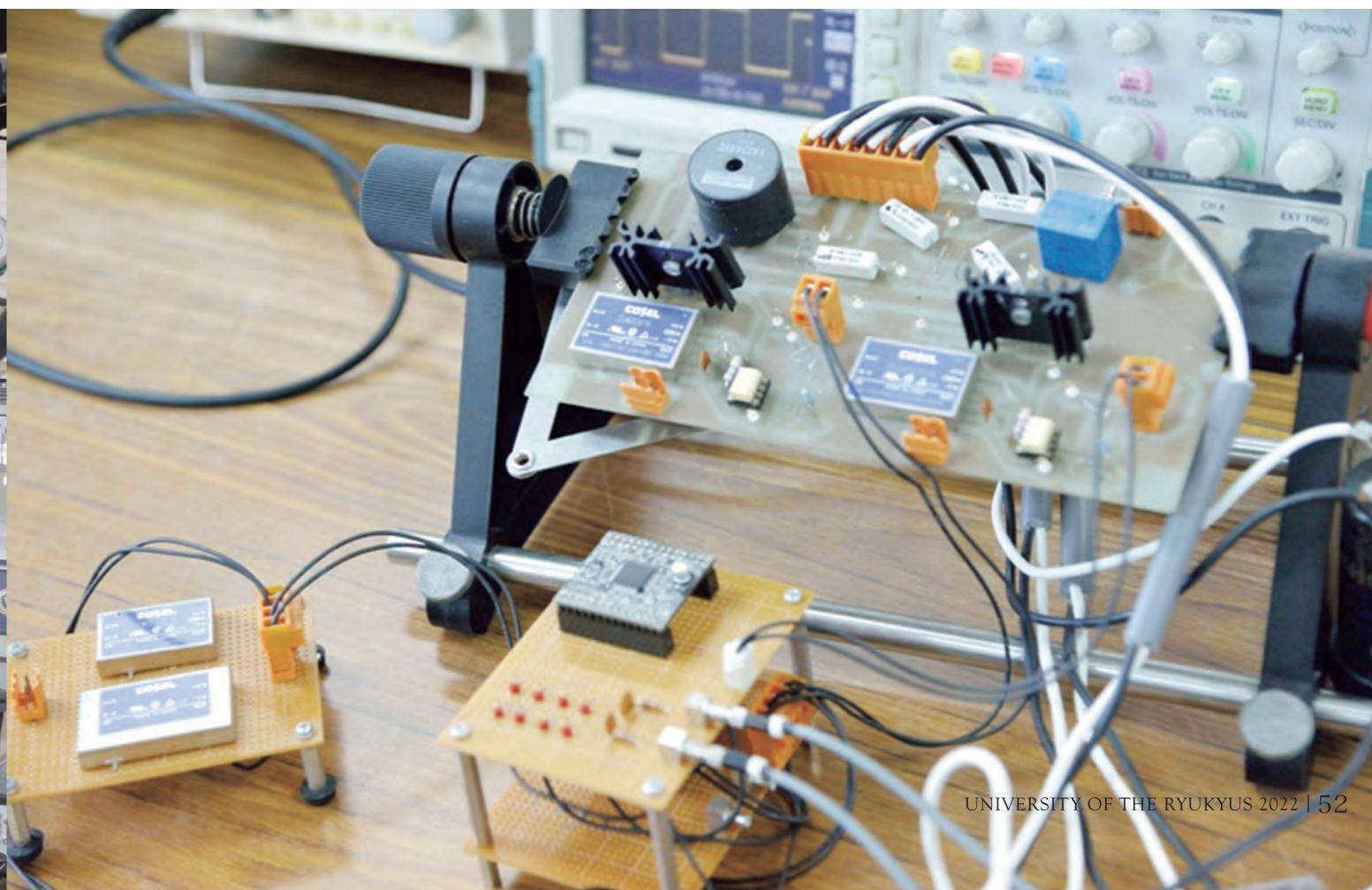
## 電気システム工学コース

Electrical and Systems Engineering Program

電気エネルギーは私たちが暮らす社会では必要不可欠です。しかし今、環境問題解決のために電気エネルギーのあり方を変える技術が求められています。電気システム工学コースでは、再生可能エネルギー、新電力システム・スマートグリッド、ロボット、スマートヘルスケアなど社会のニーズに応えられる電気工学や工業数学、システム工学の専門知識を学べます。また幅広い教養と語学を習得できコミュニケーション能力を育みます。電気主任技術者、電気工事士などの資格取得も可能です。

### 研究分野

- 電力システム工学
- 電気機器工学
- 生体医工学
- パワーエレクトロニクス
- プラズマ工学
- 制御工学
- 電力エネルギー変換工学
- 磁気工学



すべての産業基盤となる技術を習得・実践し、  
安全・安心・健康で豊かな社会を実現する技術者を育成

## 電子情報通信コース

Electronic and Communication Engineering Program

電子情報通信コースでは、すべての産業を支える基盤技術である電子情報通信技術について学び、高度な専門知識を身につけ、新たな応用分野を切り拓くことができる人材育成をめざしています。持続可能な社会を実現するには、発電、組込、計測、高速大容量の情報通信技術等の開発が今まで以上に重要です。また最近では、さまざまな機器がインターネットに接続され、新しい社会変革が始まっています。当コースでは、これらの技術を幅広く体系的に学べる実践的なカリキュラムを用意しています。

### 研究分野

- 電子物性工学
- デジタルシステム設計、
- ハードウェア記述言語
- 無線通信工学
- 量子計算機工学
- デジタル通信システム
- 誘電体工学
- 計算知能工学
- 有機エレクトロニクス
- 信号処理
- 薄膜半導体素子
- 地盤環境工学
- 集積回路設計工学
- 画像工学
- 光計測工学

自然環境調和型の社会基盤づくりと  
環境問題の解決に貢献できる専門技術者を育成

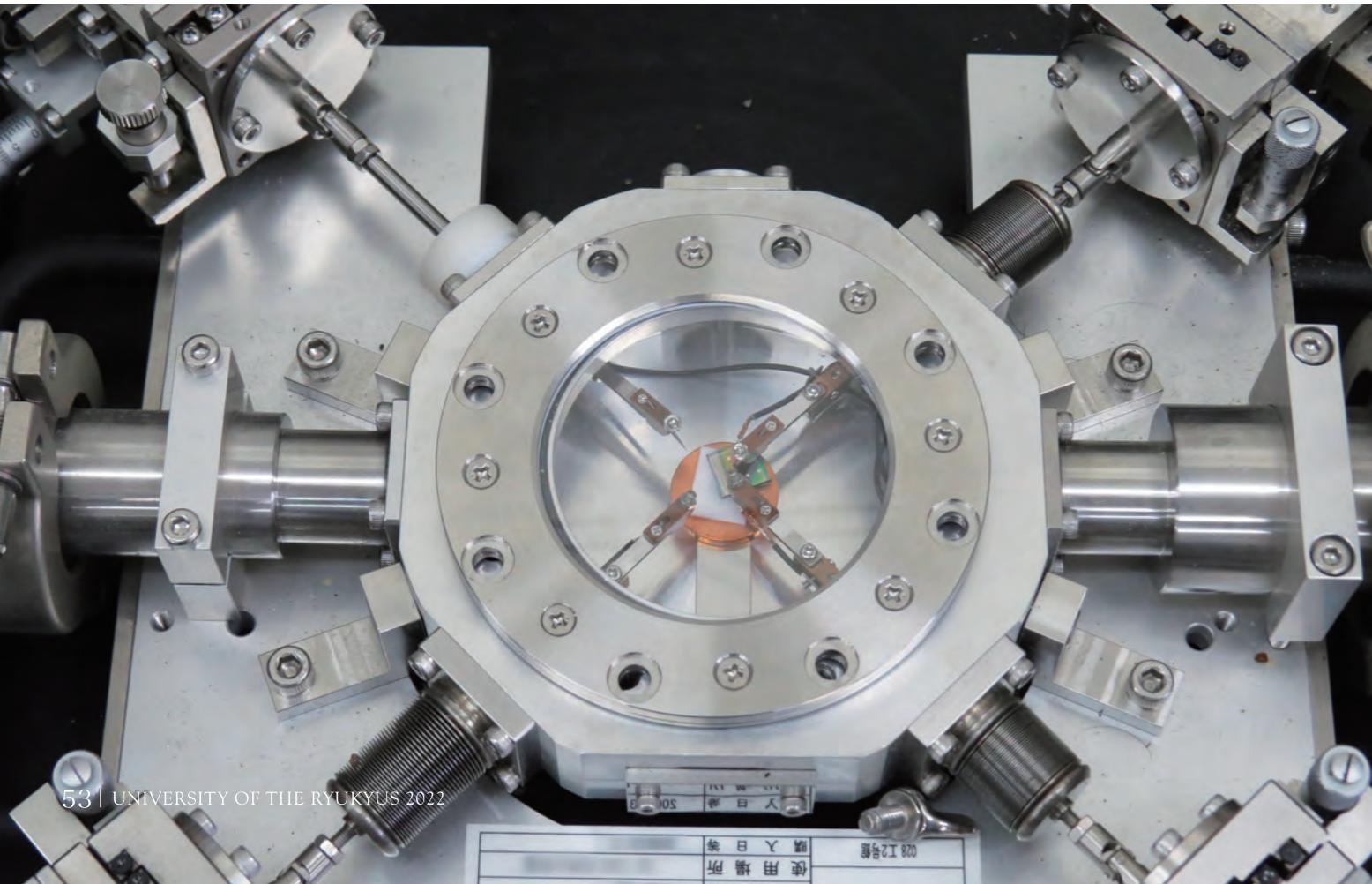
## 社会基盤デザインコース

Civil Engineering Program

社会基盤デザインコースでは、亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かし、自然環境に調和した空港や道路、橋、鉄軌道など公共交通システムや、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創り、気候の変動や新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源の開発、防災・減災、環境保全などのグローバルな諸問題解決に貢献できる専門技術者を養成します。持続可能な社会基盤をデザインするために必要な多面的な視点から計画・設計・建設・維持管理までを体系化した専門知識を修得できます。

### 研究分野

- 災害リスクマネジメント
- 海洋環境
- 地盤環境工学
- 建設材料学
- 環境計画
- 河川工学
- 鋼構造工学
- コンクリート工学
- 景観計画
- 流体力学
- 腐食防食
- シミュレーション
- 海岸工学
- 岩盤工学
- 維持理工学
- 計算力学



人・自然・社会という3つの資源共生を考慮し、ソーシャルデザイン設計ができる建築技術者を養成

## 建築学コース

Architecture and Building Engineering Program

建築学は、人間が安全・安心・豊かに生活するための生活空間を築く知識と技術の体系です。自然災害への理解、風雨が建物に与える影響、建築材料の知識、丈夫な建物をつくる技術が必要です。快適な建物を実現するために、人と環境の関係から空気やエネルギーの流れを考慮します。さらに文化的側面や、都市計画まで包括します。建築学コースでは沖縄の特色ある自然、文化、社会のもとで地域に根差した建築を探求しながらも、普遍的な技術を習得し、国内外で活躍できる建築技術者を養成します。

### 研究分野

- 建築材料学
- 都市計画・ランドスケープ
- 建築構造学
- 都市・建築環境工学
- 建築計画学
- 建築防災工学

より良い情報社会実現のために高度な技術と柔軟な発想力・温かな人間性を備えた人材を育成

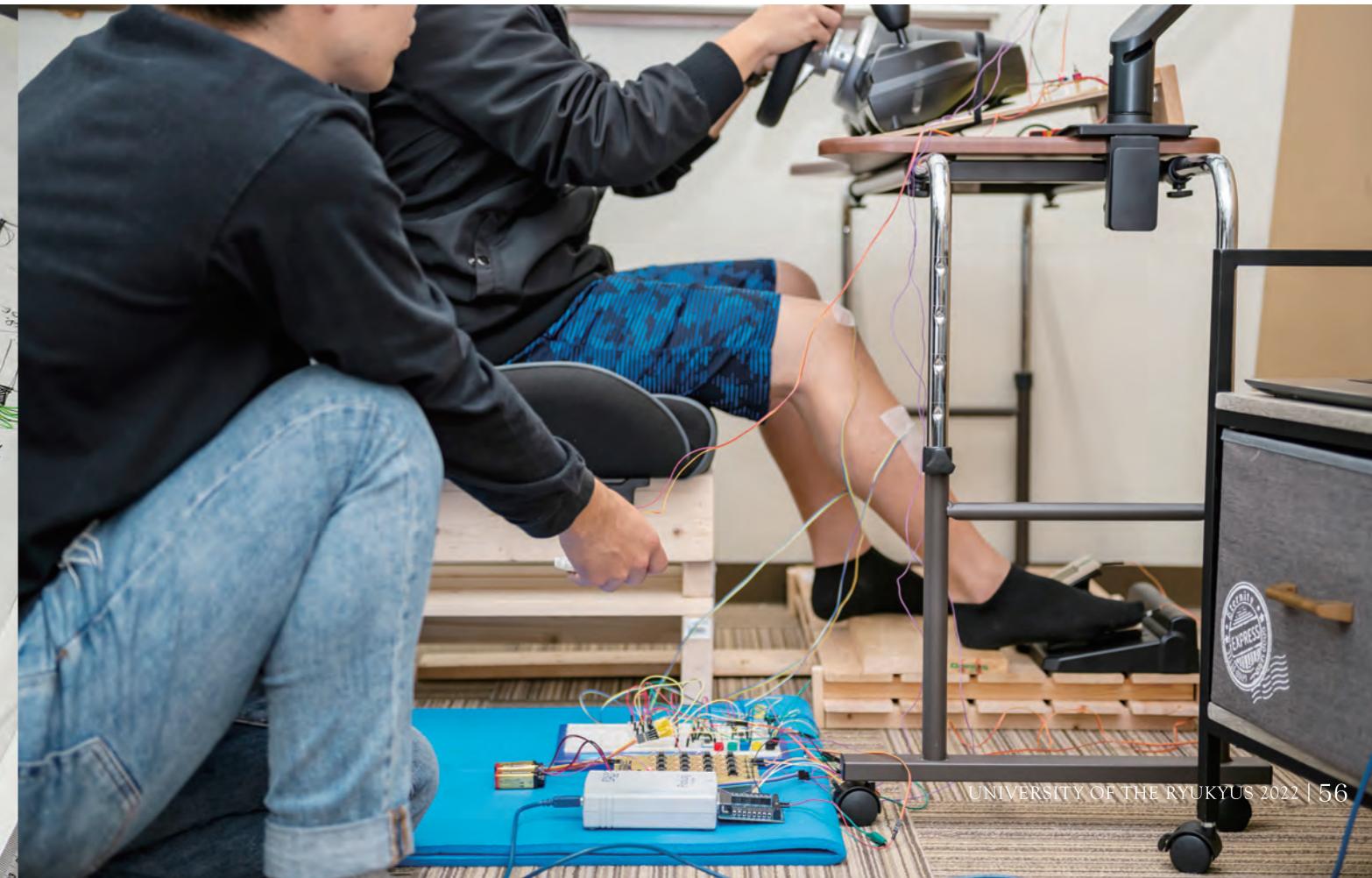
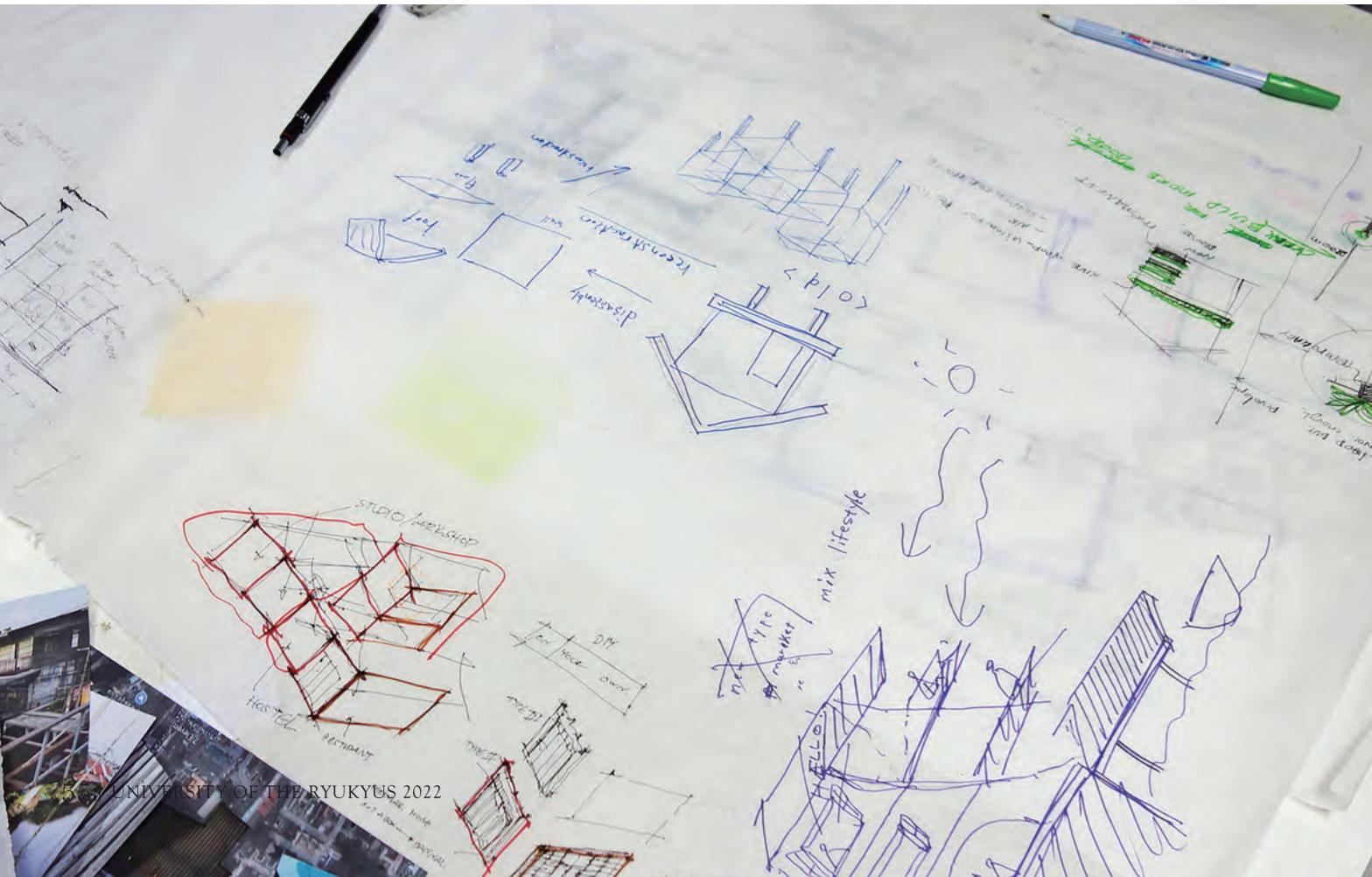
## 知能情報コース

Computer Science and Intelligent Systems Program

「情報通信産業の高度化・多様化」が沖縄県策定の「21世紀ビジョン」構想実現における大きな原動力として期待されています。本コースでは、①コンピュータシステム②コンピュータ応用(ロボット・人工知能等)③情報通信の3分野に加え、④データサイエンス(ビッグデータ収集分析等)⑤ネットワークセキュリティという新しい2つの分野の研究環境も充実しています。世界的な競争力のあるイノベーションを創出できる技術者、高い技術力、柔軟な創造力と温かな人格を備えた人材を育成します。

### 研究分野

- |              |                  |            |                |
|--------------|------------------|------------|----------------|
| ● データサイエンス   | ● 情報メディア工学       | ● 人工知能     | ● 創発知能ロボット工学   |
| ● デジタル通信システム | ● ネットワークシステム情報工学 | ● 生体情報システム | ● 複雑系工学        |
| ● システム数理     | ● ネットワークモデリング・制御 | ● 並列計算     | ● ネットワークセキュリティ |
| ● ハードウェア記述言語 | ● ディジタルシステム設計    | ● 知的信号処理   |                |



亜熱帯地域に位置する  
国内唯一の農学部  
研究フィールドは目の前に

# 農学部

Faculty of Agriculture

- 亜熱帯地域農学科  
Department of Subtropical Agro-Production Sciences
- 亜熱帯農林環境科学科  
Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences
- 地域農業工学科  
Department of Regional Agricultural Engineering
- 亜熱帯生物資源科学科  
Department of Bioscience and Biotechnology





国際的視点から地域の農林水産業の振興を促す人材や  
農業と地域社会の共生の仕組みが構築できる人材を育成

## 亜熱帯地域農学科

Department of Subtropical Agro-Production Sciences



### 農林経済学コース

持続的食料自給システム、都市と農山村との循環型社会、農業政策学、農産物流通学、森林政策学、森林環境経済学、アグリビジネス論、比較林政学、森林経営計画学など。

### 植物開発学コース

亜熱帯地域に適応した植物育種の展開、未利用植物資源の開発および持続的生産技術の構築、基礎遺伝学、熱帯果樹園芸学、蔬菜園芸学、鑑賞植物園芸学、植物開発学演習、園芸学実験など。

### 循環畜産学コース

家畜生産を通じた地域資源循環型農業、熱帯草地学、熱帯畜産論、家畜飼料学、家畜環境管理学、家畜行動管理学、家畜衛生管理学実験など。

### 農林共生学コース

フィールドを活用した動植物生産、人間と動植物の多面的関係を通じた新たな農林共生、緑化修景施工論、園芸福祉学概論、作物栽培環境学、畜産共生技術論、畜産周辺関係学、森林ツーリズム論、森と人間の文化論、森林情報計測学など。

### Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

○国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人

○地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人

○農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人

#### 【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

○農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

#### 【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

○琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人

○高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人

#### 【学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課さない)では特に次のような学生を求めます】

○農林畜産業の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

### 研究分野

- 森林政策学
- 花卉園芸学
- 家畜管理学
- 里山環境学
- 森林経済学
- 蔬菜園芸学
- 熱帯植物栽培学
- 畜産学・草地学
- 農業経済学
- 植物育種学
- 緑地管理学
- 森林計画学
- 農業市場学
- 家畜栄養学

植物と動物の生産や環境に関する分野で活躍する人材、  
琉球弧や地球レベルの生態系保全に貢献できる人材を育成

# 亜熱帯農林環境科学科

Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences



## 植物機能学コース

作物の生理・生態的特性を基礎にした効率的なバイオマス生産と利用、バイオ燃料の生産、沖縄型植物工場の開発、植物に発生する各種病害の発生・生態と生物的防除法について。

## 森林環境学コース

森林生態系や都市の緑の保全と森林資源の利用、自然災害の軽減を考慮した森林造成、森林や樹木の保護、流域管理の理論と実践について。

## 動物機能学コース

熱帶・亜熱帯で飼われている動物を対象に、環境との相互作用の視点から動物の遺伝育種・繁殖・生理・形態などの特性解明と関連する技術の開発について。

## 生態環境科学コース

昆虫を中心とする野生動物と土壤環境の特性・機能の解明と利用技術について。

### Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人
- 生物生産と自然環境との調和を目指す人
- 生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人

#### 【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

- 農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

#### 【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- 高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人

#### 【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 生物生産・資源や自然環境の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

### 研究分野

- |         |           |          |           |         |
|---------|-----------|----------|-----------|---------|
| ● 作物学   | ● 動物機能形態学 | ● 林業学    | ● 森林保護学   | ● 進化生態学 |
| ● 植物病理学 | ● 家畜ゲノム科学 | ● 森林生態学  | ● 生態学・環境学 | ● 土壌学   |
| ● 家畜育種学 | ● 家畜生理学   | ● 総合流域管理 | ● 植物栄養学   | ● 保全生物学 |
| ● 家畜繁殖学 | ● 流域森林保全学 |          |           |         |

食糧資源・エネルギー・環境が調和した  
持続可能な低炭素型社会の実現をめざして

## 地域農業工学科

Department of Regional Agricultural Engineering



### バイオシステム工学コース

機械工学や情報工学を応用、農業の生産・流通・食品加工の効率化を図ると共に、亜熱帯・島嶼環境に適した持続的生産システムとバイオマスなどの再生可能エネルギー・システムの構築に関する教育・研究を行います。

### 地域環境工学コース

JABEE・日本技術者教育認定機構（JABEE）プログラム／水・土・大気の基本的な性質の理解を土台に、土木・環境工学を活用して環境調和型の基盤システムや農地を整備し、美しい景観と土砂災害のない安心かつ安全な農村の創成と保全に関する教育・研究を行います。

### Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- 豊かな農村空間の創出、確かな農村基盤の整備、防災および農村環境の保全に関心がある人
- 農と自然との調和に関する工学的探究に興味がある人

#### 【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

- 農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

#### 【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- 高校生のときに熱意を持って取り組んだ活動実績がある人

#### 【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 農業・農村の環境や農業生産システムに関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

### 研究分野

- |         |           |            |            |
|---------|-----------|------------|------------|
| ● 農業土木学 | ● 水利環境    | ● 自然災害科学   | ● 農業情報工学   |
| ● 農村計画学 | ● 土地環境保全学 | ● 農業食料工学   | ● ポストハーベスト |
| ● 農業水文  | ● 地下水工学   | ● 生産システム工学 | ● 農産施設工学   |
| ● 農業造構学 | ● 農村環境保全  | ● 農業環境工学   | ● 農業機械学    |

亜熱帯の沖縄は生物資源と食資源の宝箱。  
私たちと一緒に宝探しの旅に出よう！

# 亜熱帯生物資源科学科

Department of Bioscience and Biotechnology



## 生物機能開発学コース

亜熱帯の生物資源の機能特性を分子から生体レベルで追求し、人類の福祉に有効な機能性素材の開発や利用に関する専門的知識を修得します。

## 食品機能科学コース

食品の機能性を健康維持、増進の観点から追求し、新たな食品素材を開発すると共に、健康生活の向上に関する専門的知識を修得します。

## 発酵・生命科学コース

地域特性を生かした発酵食品の開発、ならびに亜熱帯生物資源の生命現象の解析とその応用に関する専門的知識を修得します。

## 健康栄養科学コース

人間栄養学の観点から食を科学的かつ実践的にとらえ、地域の特性を考慮した健康・長寿社会の実現に関する専門的知識を修得します。

### Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源の利用・開発およびバイオテクノロジーに関心のある人
- 健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味をもつ人
- 発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人

健康栄養科学コースでは現代社会の抱える様々な健康をめぐる諸問題に向き合い、栄養学と食育などを通じて社会発展に寄与する意欲のある次のような人を求めています。

- 栄養学・食育を通じて地域社会の健康の保持増進に貢献したい人

#### 【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

- 農学を広く学ぶうえで必要な基礎的な知識・技能を習得した人

#### 【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科で意欲的に学ぶことを強く望み、主体性をもって社会に貢献する強い意志をもつ人
- 現在までに主体性をもって多様な人々と協働して学んだ活動実績がある人
- 健康栄養科学コースでは、上記に加え、栄養士の専門性を活かしたリーダーとして幅広く社会で活躍したい人

#### 【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 亜熱帯生物資源の機能開発や高度利用に関心があり、社会に貢献する強い意志をもつ人(健康栄養科学コースでは、学校推薦型選抜を行いません)

### 研究分野

#### 生物機能開発学コース

- 糖鎖科学
- 林産科学
- 多糖類機能化学
- 遺伝子工学
- 生物活性物質学

#### 食品機能科学コース

- 栄養生化学
- 食品化学
- 食品機能学
- 食品製造・加工学

#### 発酵・生命科学コース

- 発酵微生物学
- 応用微生物学
- 微生物利用学
- 釀造微生物学
- タンパク質工学

#### 健康栄養科学コース

- 食品分析学
- 給食管理・食育
- 健康栄養学
- 食品学・栄養指導
- 食品成分化学

# CAMPUS LIFE SCHEDULE



- April 4 ■入学式 ■新入生オリエンテーション  
■前学期授業開始
- May 5 ■体育祭  
■開学記念日
- June 6 ■教育実習開始
- July 7 ■前学期期末試験  
7/10 オープンキャンパス
- August 8 ■英語全学統一テスト ■夏季休業  
東京・大阪オープンキャンパス
- September 9 ■後学期授業登録 ■夏季休業 ■琉大祭  
総合型選抜(第1次選考)
- October 10 ■後学期授業開始  
総合型選抜(第2次選考) ビジットキャンパス
- November 11 ■稀に冷房(エアコン)を使います  
名古屋オープンキャンパス
- December 12 ■グローカルフェスティバル ■冬季休業  
学校推薦型選抜
- January 1 ■後学期(後半)授業開始  
大学入学共通テスト
- February 2 ■後学期期末試験 ■春季休業  
一般選抜(前期日程)
- March 3 ■卒業式 ■春季休業  
一般選抜(後期日程)



## CLUB & CIRCLE

### 文化系

- アカペラサークルうたゆん
- 生物クラブ
- フォーククラブ
- スタジオジャグリ(ジャグリング)
- 琉球大学法政エイサー
- カスタム琉大(自動車)
- ウミガメ研究会ちゅらがーみー
- 書道部
- 写真部
- 管弦楽団
- こなもん。(料理)
- 吹奏楽部
- eスポーツサークル
- 漫画研究会
- ロック同好会

医学部

- 軽音楽部
- 地域医療研究会
- 熱帯医学研究会
- 中国医学研究会
- IFMSA-Ryukyus
- 国際協力サークル(URIC)

### 体育系

- アメリカンフットボール部
- バドミントン部
- R-Family(ダンス)
- ダイビングサークルMARIN
- 陸上競技部
- ACTY(スポーツ全般)
- 硬式野球部
- ラグビー部
- 硬式テニス部
- 弓道部
- アイスホッケー部
- ダイビングクラブ
- スポーツ同好会
- バスケットボール部
- バレーボール部
- フィギュアスケート部
- サーフチーム(サーフィン)
- Ryuul(アルティメット)
- 水泳部
- 卓球部
- ハンドボール部
- 体操部
- 駅道部
- Ryukies(フットサル)
- 合氣道部
- サッカー部
- 剣道部
- 競歩サークル
- 空手道部
- ゴルフ部
- ウェイトトレーニング部
- Parceiro(フットサル)
- 馬術部
- ソフトテニス部
- 柔道部
- ラクロス部
- プロレス同好会
- チアリーディング部
- ウインドサーフィン部

医学部

- 弓道部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- 水泳部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ボードセイリング部
- 剣道部
- サッカーチーム
- バスケットボール部
- ハンドボール部
- 空手道部
- フットサルクラブ
- 硬式テニス部
- ダンス部
- 陸上競技部
- フィギュアスケート部
- ダイビング部
- ゴルフ部



## 施設紹介① 附属図書館

「知の殿堂」

沖縄・国際関連コンテンツの充実をはじめ、琉球大学の独自性を色濃くあらわす



### 充実した学修支援体制

#### ● 豊富な学生用図書

学生や教職員からのリクエストも受けながら、毎年約1万冊の図書を購入し、琉球大学の幅広い分野の学修活動を支援しています。紙の資料だけではなく、館外からインターネットを通して利用できる電子資料も多数揃えています。

#### ● 沖縄研究資料の利用サポート

デジタル化した上で解説や英訳を付けた貴重書画像や、沖縄関係の文献情報を収録したデータベースをインターネット上で公開し、琉球大学ならではの沖縄研究資料の利用を強力にサポートしています。

#### ● 学外資料の利用支援

琉球大学が所蔵していない資料については、県内外の他の図書館から取り寄せて利用できるサービスを提供しています。

#### ● 多彩な学修エリア

一般的な閲覧席だけでなく、会話ながらのグループ学修やプレゼンテーションに適したエリア、パソコンを配置したエリア、一人で集中して学修できるエリアなど、学修方法に応じて選ぶことができる多彩な学修エリアを用意しています。

#### ● グローバル化支援

館内には留学や語学学習のための資料や支援が充実したエリアを用意しています。自由に会話のできるスペースですから、グループで声を出して外国語会話の練習をすることもできます。

#### ● きめ細かな学修サポート

資料や情報の調べ方や使い方をわかりやすく説明したガイドブックや講習会などを用意しているほか、サービスカウンターでも随時サポートします。

千原キャンパスの附属図書館本館(志喜屋記念図書館)と上原キャンパスの医学部分館とで、合わせて約100万冊の蔵書を備え、琉球大学の教育研究活動を支えています。沖縄県唯一の国立大学として国内外の沖縄研究資料を積極的に収集しているほか、国連寄託図書館とEU情報センターに指定されていることから国際的な資料も充実しており、県内外から広く利用されています。こうした資料と共に、館内には様々なコンセプトの利用エリアを設け、学生の多様な学修活動をサポートしています。



## 施設紹介② 風樹館

沖縄の自然と文化をテーマに約20万点の学術資料を収蔵

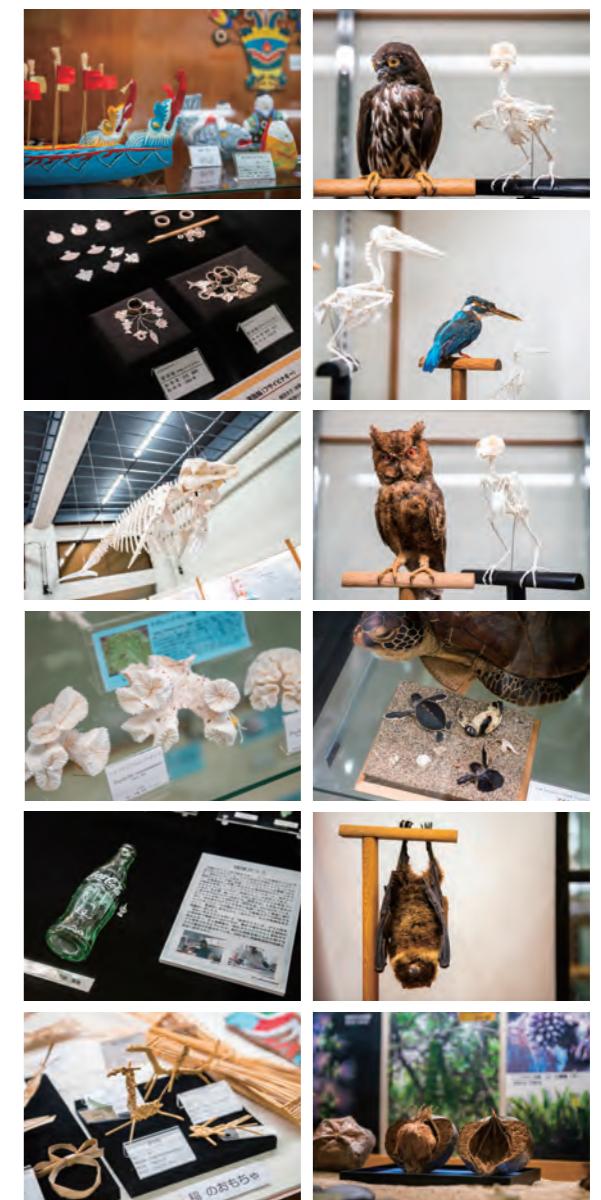


琉球大学には附属の博物館があります。農学部のすぐ近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。ここには、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の教育や研究に活用されています。また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、地域に開かれた大学博物館を目指しています。

上段は文化系展示室、中段下段は自然系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4,000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、様々な昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。





### 熱帯生物圏研究センター

日本で唯一、熱帯・亜熱帯環境下にある共同研究拠点。瀬底島と西表島にある各研究施設と千原キャンパス内のふたつの研究施設が連携し、地域の生物の生態的特性や多様性、人の健康・環境との相互作用などの解明を進めています。

#### 瀬底研究施設



瀬底研究施設には、サンゴ礁生物研究の国際的拠点となる共同研究施設を整備し、24時間体制で研究できる宿泊室も完備しています。多くの国内外の学生や研究者が施設を利用し、サンゴ礁のフィールド調査や海水を利用した生物飼育実験などを行ない、研究を推進しています。



#### 西表島

#### 西表研究施設



日本最大の亜熱帯照葉樹林・マングローブ林を有し、その周りを比較的良好なサンゴ礁に囲まれた西表島は、様々なフィールド研究を行うのにもってこいの島です。西表研究施設は宿泊・実験施設を備えており、国内外の学生や研究者に活用されています。



#### 亜熱帯フィールド 科学教育研究センター 与那フィールド

日本の大学の中で唯一、亜熱帯に位置する大学演習林。他の大学や研究機関とも連携し「日本最南端の森林データ」を提供しています。農学部を主に、学生がフィールドワークや実習で利活用しています。



#### 海外拠点

- 台北サテライトオフィス
- ハワイリエゾンオフィス
- ラオスサテライトオフィス
- ドイツサテライトオフィス
- ブラジルサテライトオフィス



#### 県外拠点

- 東京オフィス

グローバルな視野や思考力を育む海外留学に向けて世界各国・地域の大学等と国際交流協定を締結しています

## 海外留学

●琉球大学では約40カ国・地域の大学等と国際交流協定を締結して、充実した海外留学制度を整えるとともに、経済的な支援として、大学独自の奨学金や支援金により海外留学をサポートしています。また、バラエティ豊かなアジア・太平洋島嶼地域の諸大学に留学できるのも琉球大学ならではです。

### 国際化とは語学を学ぶことだけではない

今海外の大学院で学んでいるみなさんの先輩が言いました。「私は世界で環境工学の仕事がしたくて海外で学んでいます。語学はその目的を達成するためのハードルにしか過ぎませんでした。」重要なのはあなたが何をしたいかです。琉球大学は世界各国・地域に交流協定校があり、選択肢は豊富で、必ずあなたの「何がしたい」にふさわしい場所が見つかるはずです。あるいは「何がしたい」を見つけるために飛び出してもいいです。もちろん語学も大切ですが、それはハードルに過ぎず、ゴールはあなた自身の目的にあります。

### 琉球大学短期交換留学(派遣)プログラム 本学から海外への留学

- 派遣期間は、1学期以上1年間以内
- 留学先の大学で取得した単位は、琉球大学の卒業要件の単位として認定可能
- 留学先の大学の授業料等は不要(ただし、琉球大学に在学している状態となるため、琉球大学の授業料は必要)
- 日本学生支援機構や琉球大学後援財団による奨学金(6~8万円/月)あり(選考があります)
- 琉大独自の奨学金(6~12万円)や準備金・短期研修参加費用を一部支援する制度もあります(詳細は下の琉球大学QUEST基金を確認)
- 官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~による奨学金(12または16万円/月)や留学準備金、授業料の一部支援も応募可能(諸条件あり)。2022年度以降のプログラムの実施については未定)
- 学生部 国際教育課の担当職員が、海外留学全般の相談に応じます。お気軽にご相談ください!

### 派遣留学のための学内奨学金

#### 琉球大学 QUEST 基金 学生の国際交流支援事業

本学卒業生から、学生の国際交流支援のために受け入れた寄附金を主な財源として2017年度に創設し、2018年度から事業を開始した基金です。「QUEST」は「Quality Education and Support for Tomorrow」を意味し、本基金では、未来へつながる学生の探究心の向上に資することを目的に、次のような支援を行っています。

#### ■短期交換留学生(協定派遣)の生活サポート — 短期交換留学(協定派遣)奨学金

本学と学生交流協定を締結している海外の大学に交換留学生として短期留学する学生に対して、奨学金及び留学準備金を支給しています。  
(2020年度実績) 奨学金 月額6~8万円、留学準備金16万円(家計基準あり)

#### ■短期派遣研修プログラムサポート — 短期派遣研修プログラム助成

全学部学生を対象に実施する海外文化研修や各学部が実施する海外短期研修プログラム参加者に対して、研修費用の一部を支援しています。  
(2020年度実績) 助成金 8~15万円(派遣地域によって支給額が異なります。)

#### ■大学院学生の海外研究サポート — 大学院学生の海外留学奨学金

海外の大学や研究機関等への留学を希望する本学研究科の大学院学生に対して、給付型奨学金及び留学準備金を支給しています。  
(2020年度実績) 奨学金 月額12~16万円、留学準備金15~25万円(派遣地域によって支給額が異なります。)

#### ■海外留学準備サポート — 英語能力試験受験料助成

海外留学を目指す学部学生及び大学院学生に対して、留学準備のために受験する英語能力試験(TOEFL iBT, IELTS)の受験料の一部を支援しています。  
(2020年度実績) 助成金 TOEFL iBT又はIELTSの受験1回につき2万円



琉球大学では、海外留学を支援するために、この他にも様々な返済不要の給付型奨学金を用意しています。  
詳しくは、国際教育課のホームページで確認してください。

[留学に関する問合せ先] 学生部 国際教育課 留学交流係  
TEL: 098-895-8761



※海外留学のための奨学金について  
は、右記のQRコードからアクセスしてください。

### 各学部等が行う主な国際交流プログラム

全学部・全研究科 対象 交換留学

全学部・研究科 対象 ISEPによる交換留学

全学部・研究科 対象 UMAPによる交換留学

全学部 対象 海外職場体験

全学部 対象 海外文化研修

全学部・全研究科 対象 パレンシア国際カレッジ・  
プログラム

人文社会学部 対象 東アジア諸国、  
米国(ハワイ・グアム)  
等での海外研修

医学部 対象 ラオスでの  
医学生人材育成支援事業

工学部 対象 エヌ・テック・システムズ  
東南アジア派遣助成事業

農学研究科 対象 「国際農学プログラムによる」  
海外研修



※次回の渡航先や予定、最新の情報については、  
右記のQRコードからアクセスできます。

## 海外留学の前に・・・「海外文化研修」

本学では、半年から1年間の「交換留学」以外に、2週間から4週間程度の「海外文化研修」を実施しています。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5言語で実施しており、どの学部の学生でも、履修条件を満たせば参加することができます。海外留学に迷っている場合や海外留学のイメージ湧かない場合は、まずは「海外文化研修」で留学を体験してみませんか?

### 英語

2週間の文化研修では英語圏の国や地域に滞在し、提携先の大学の講義に参加します。またフィールドトリップを通して、語学だけではなく、その土地の文化や歴史、習慣などを学ぶことができます。2019年度はハワイ大学マノア校でハワイと沖縄の交流史などを学び、ワンドワードコミュニティカレッジでは現地学生との交流やSDGsについての発表も行いました。

### フランス語

夏期休暇中に3~4週間の日程で実施します。地方都市の落ち着いた雰囲気のなかでホームステイまたは寮生活をしながら2週間行う語学研修では、実践的な語学運用能力の向上を目指します。また、1~2週間の文化研修ではパリや地方、近隣国等を訪れ、美術・建築様式の歴史や現地の社会事情を体感し、フランスやヨーロッパの文化・歴史・社会に対する理解を深める機会を提供します。



フランス海外文化研修(トゥルーズ)



フランス海外文化研修(パリ)

### スペイン語

スペインで3~4週間の語学研修を行います。滞在期間中には、現地学生、ホストファミリー等との交流を通して、スペイン語の運用能力の向上を図ります。その他、週末等を利用して研修仲間と一緒に小旅行を楽しみながら、スペインの文化や歴史に対する理解を深めます。



スペイン文化研修

### ドイツ語

夏季休暇中に、隔年でドイツ及びヨーロッパ各地にて約4週間実施されます。協定校のデュッセルドルフ大学における2週間の語学研修と10日間のバス旅行、最後の4日間は各自の興味に合わせた自由旅行となります。語学研修では外国語運用能力の向上を図り、現地学生・市民との交流を試みる一方、文化研修においては毎回異なるテーマを設定し、そのテーマに沿って訪問国・地域の文化や歴史に対する理解を深め、帰国後の学習がより深化・発展するような研修となっています。



## 学生寮(千原寮)

360°動画は  
コチラ



### 混住型棟

\* 2021年6月改修完了(予定)、9月入寮開始(予定)



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員／男子：80名 女子：50名
- 居室(12 m<sup>2</sup>)はすべて個室で、エアコン、トイレ(温水洗浄便座)と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮は、16人、女子寮は10人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗濯室等があります。

寄宿料	月額15,000円
維持費	月額9,400円 寮生が共用部所で使用する水道・ガス等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 26,000 ~ 29,000 円程度です。

### 新混住型棟



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員／男子：59名 女子：39名
- 居室(15 m<sup>2</sup>)はすべて個室で、エアコン、キッチン(IHコンロ)、シャワー、トイレ(温水洗浄便座)と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮は11 ~ 12人、女子寮は7 ~ 8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

寄宿料	月額20,000円
維持費	月額5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 28,000 ~ 31,000 円程度です。

### 一般棟 (トイレ・シャワー共用タイプ)

\* 海邦棟：2021年6月改修完了(予定)、9月入寮開始(予定) \* 南星棟：2022年2月改修完了(予定)、4月入寮開始(予定)



- 鉄筋コンクリート5階建：
  - 男子寮3棟／北辰棟(A・Cブロック)・海邦棟・南星棟
  - 女子寮1棟／紫陽花棟(A・Cブロック)
- 定員／男子：345名(海邦棟 95名、南星棟 150名、北辰棟A・Cブロック各50名)
- 女子：100名(紫陽花棟A・Cブロック各50名)
- 居室(9 m<sup>2</sup>)はすべて個室で、エアコンと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 9 ~ 10人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

寄宿料	月額10,000円
維持費	月額9,400円 寮生が共用部分で使用する水道・ガス等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料を合わせて月額 21,000 ~ 23,000 円程度です。

### 一般棟 (トイレ・シャワー個室タイプ)



- 鉄筋コンクリート5階建：
  - 男子寮1棟／北辰棟(Bブロック)
  - 女子寮1棟／紫陽花棟(Bブロック)
- 定員／男子：40名、女子：40名
- 居室(13.5 m<sup>2</sup>)はすべて個室で、エアコン、シャワー、トイレと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

寄宿料	月額15,000円
維持費	月額5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 23,000 ~ 26,000 円程度です。

### 新棟男子寮・新棟女子寮



- 鉄筋コンクリート7階建(男子寮・女子寮)、エレベーター完備
- 定員／男子：112名 女子：112名
- 居室(16 m<sup>2</sup>)はすべて個室で、エアコン、キッチン(IHコンロ)、シャワー、トイレ(温水洗浄便座)と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮、女子寮は、16人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

寄宿料	月額25,000円
維持費	月額5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 33,000 ~ 36,000 円程度です。

※インターネット利用には居住者本人と業者の個人契約が必要です。

#### 共用棟

共用棟には、事務室、談話室(ホール)、トイレ(男子用、女子用、身障者用)、自動販売機(飲み物、カップラーメン)があります。  
また、無線LANも利用できます。

#### P 専用駐車場

学生寮の構内にある千原寮駐車場が利用できます(月額1,000円)。但し、千原寮に居住する学生の車両は、千原寮以外の大学内駐車場の利用および通学には使用できません。

《千原寮入寮案内請求先》 [学寮事務室] 〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原59番地 TEL 098-895-8133・8101

誰もが経済的な事情に左右されずに学べるよう、様々な修学支援を行っています

## 経済サポート

※修学支援制度の  
詳細については、  
右記のQRコードから  
アクセスして下さい。



琉球大学では、様々な入学金・授業料を減免する制度や奨学金の制度を行っています。

(2020年度の制度のため、変更となる場合があります。)

新修学支援制度

対象	住民税非課税世帯及び非課税世帯に準ずる世帯の学生 ※いずれも、全額・2/3・1/3の段階別で実施	
JASSO 給付型奨学金(年額)	自宅生約35万円	自宅外生約80万円
授業料等免除(年額)	入学料約28万円	授業料54万円

貸与奨学金  
JASSO

第一種奨学金(無利子)	自宅生 45,000円、30,000円、20,000円(月額) 自宅外生 51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)
第二種奨学金(有利子)	2万円～12万円(1万円単位)(月額) ※一種と二種の併用も可能
入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	10万円～50万円(10万円単位)(一時金) ※入学時特別貸与のみの貸与は不可

免  
除

琉球大学による入学金免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

入学料免除	全額	半額

琉球大学独自制度による授業料免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

授業料免除	昼11万円免除(夜5.5万円)

琉球大学 修学支援基金 学資金支援事業

対象 経済的に著しく困窮している方

学資金の給付	一律5万円を給付(2020年度実績) ※各年度の状況に応じた額になります。

入学料・授業料  
2021年度

昼間主コース	入学料 282,000円 授業料 535,800円(年間) 267,900円(半期)
--------	---

夜間主コース	入学料 141,000円 授業料 267,900円(年間) 133,950円(半期)
--------	---

※2021年4月1日現在

卒業後、社会的・職業的に自立できるよう様々なキャリア教育・支援を展開しています

## キャリア教育・支援と卒業生の進路

多様な生き方・働き方が認められる現代の社会においては、自らライフ・キャリアを創造していくための力が必要です。  
琉球大学キャリア教育センターでは、在学生のキャリア形成支援のための様々な教育やサービスを展開しています。

### 体系的なキャリア教育科目の提供

#### キャリア形成入門

キャリア教育センター教員による、キャリア形成のための基礎授業です。  
現代社会における多様なキャリアデザインについて学び、大学生活を主体的に過ごすための態度や能力を育てます。

#### キャリア関係特別講義II (県内中期インターンシップ)

インターンシップ実習と実習前後の研修をセットにした実践的授業です。  
特に沖縄県内企業でのインターンシップに参加できます。現場を知ることで、卒業後のワーク・キャリアを考えます。

#### キャリア関係特別講義VI (県外長期インターンシップ)

一部上場企業を含む県外企業のインターンシップに、比較的長期で参加する授業です。  
少人数でじっくりと事前研修を行い、現場での学習効果を高めます。卒業後は県外に行くことを考えている人にお勧めです。

#### 海外職場体験

アジアを中心とした近隣諸国で1週間程度のインターンシップを行います。  
現地学生や現地で生活する日本人との交流も含まれ、多くの刺激を受けることができます。これまた海外経験がない学生にもおすすめです。

他にもたくさんの科目を提供しています。

### 就職・進路決定への総合的な支援

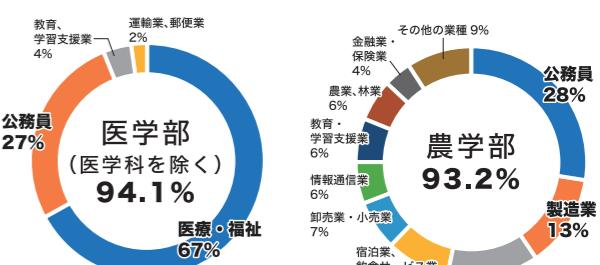
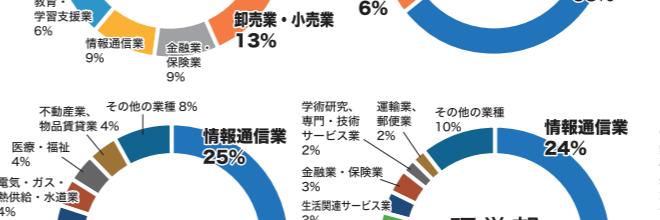
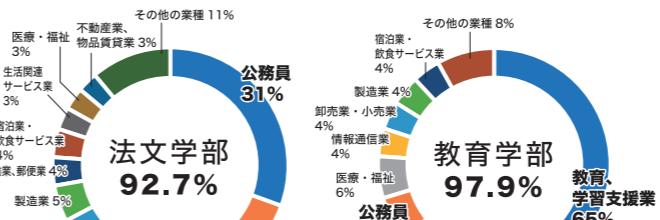
キャリア教育センターでは、経験豊富なキャリアアドバイザーへ就職や進路へ係る相談が出来るほか、次のような支援を行っています。

- ・就職、進路相談
- ・全学年対象、就職ガイダンスの開催
- ・学内合同企業説明会の開催
- ・公務員試験対策講座
- ・教員採用試験対策講座
- ・県外就職活動経費の支援(2万円)
- ・就職関連書籍やDVDの貸し出し
- ・就職関連情報の配信



2018(平成30)年度 学内合同企業説明会の様子

### 2020年3月卒業生の進路



卒業生の進路状況はコチラ

# 取得可能な教員免許状

※2021年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

学部	学科・課程・専攻・コース・専修	中学校教諭一種 (区分)	高等学校教諭一種 (区分)	その他 (区分)
人文社会	国際法政学科	—	—	
	人間社会学科		公民（B）	
	琉球アジア文化学科	国語（B）	国語（B）	
国際地域創造	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム	—	
		経営プログラム		
		経済学プログラム(昼間主コース)	社会（B）	
		国際言語文化プログラム(昼間主／夜間主コース)	英語（B）	英語（B）
		地域文化科学プログラム	社会（B）	地理歴史（B）
教育学部	学校教育教員養成課程	学校教育専攻	教育実践学専修	* (B)
			子ども教育開発専修	* (B)
		教科教育専攻	国語教育専修	国語（B）
			社会科教育専修	社会（B）
			数学教育専修	数学（B）
			理科教育専修	理科（B）
			音楽教育専修	音楽（B）
			美術教育専修	美術（B）
			保健体育専修	保健体育（B）
			技術教育専修	技術（B）
			生活科学教育専修	家庭（B）
			英語教育専修	英語（B）
		中学校教育コース	国語教育専修	国語（A）
			社会科教育専修	社会（A）
			数学教育専修	数学（A）
			理科教育専修	理科（A）
			音楽教育専修	音楽（A）
			美術教育専修	美術（A）
			保健体育専修	保健体育（A）
			技術教育専修	技術（A）
			生活科学教育専修	家庭（A）
	特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	**(A/B)
理学部	数理科学科	教科教育専攻	数学（B）	数学（B）
	物質地球科学科		理科（B）	理科（B）
	海洋自然科学科			
医学部	医学科	中学校教育コース	—	—
	保健学科			
工学部	工学科	機械工学コース	—	工業（B）
		エネルギー環境工学コース		工業（B）
		電気システム工学コース		工業（B）
		電子情報通信コース		工業（B）
		社会基盤デザインコース		工業（B）
		建築学コース		工業（B）
		知能情報コース		情報（B）
		亞熱帯地域農学科	農業（B）	
農学部		亞熱帯農林環境科学科		
		地域農業工学科		
		亞熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）		
		亞熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）		
		栄養教諭二種（B）		

区分 (A) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格 (B) 卒業単位の修得+当該教員免許取得に必要な科目の履修により得られる資格

\*は他専修教科から選択(例:国語を選択すれば「国語」が取得できる)

\*\*は特別支援一種:特別支援学校教諭一種(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)は小学校か中学校のどちらか一方の一種免許が基礎資格となるため、同時に卒業単位で取得できる。

# 教員免許状以外の資格等

※2021年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

学部	学科・課程・専攻・コース・専修	資格・試験名（区分）	
人文社会	人間社会学科	社会学プログラム	社会福祉士(社会福祉学コース:12)
		心理学プログラム	認定心理士(3) 公認心理師(14)
国際地域創造	琉球アジア文化学科		博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談
	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム	博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談
		経営プログラム	
		経済学プログラム(昼間主コース)	
		国際言語文化プログラム(昼間主/夜間主コース)	
	地域文化科学プログラム	博物館学芸員(3) G I S学術士(3)	
教育学部	学校教育教員養成課程	学校教育教員養成課程	
		物理系	学校図書館司書教諭(8) 博物館学芸員(美術教育専修:3)
			博物館学芸員(3) 測量士補(1) 測量士(5)
		地学系	博物館学芸員(3)
			博物館学芸員(3) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4)
		化学系	博物館学芸員(3) 生物系
			博物館学芸員(3)
		医学部	医師(4)
			看護師(4) 保健師(12) 助産師(12) 臨床検査技師(4) 健康食品管理士(12) ※助産師については、将来的に大学院課程への移行を検討しています。
		工学科	自動車整備士(4) 航空整備士(10) ポイラー技士(9) 機械設計技術者3級(10) 技術士(10) 航空無線通信士(10)、危険物取扱試験(10)、基本情報技術者試験(10) 他
			ボイラーネットワーク主任技術者(5) 衛生管理者(6) 冷凍空調技士(10) 他
			電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4)
			電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4)
			技術士補(1)技術士(6)測量士補(3)測量士(5)1・2級土木施工管理技士(6) コンクリート診断士(6)土木鋼構造診断士(6)他
			一級建築士(12) 二級建築士(4) 木造建築士(4) 1・2級建築施工管理技士(6) 1・2級土木施工管理技士(6) 建築設備士(6) 土地区画整理士(6) 他
			基本情報技術者試験(10) 応用情報技術者試験(10) ネットワークスペシャリスト試験(10) 他
農学部		機械工学コース	飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工授精師<受講科目の一部免除>(10) 樹木医補(3) 家畜受精卵移植師<受講科目の一部免除>(10) 2級・3級造園技能士(10)
		エネルギー環境工学コース	樹木医補(3) 飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工授精師<受講科目の一部免除>(10) 食鳥処理衛生管理者任用資格(7) 家畜受精卵移植師<受講科目の一部免除>(10)
		電気システム工学コース	測量士補(地盤環境工学コース:1、バイオシステム工学コース:3) 技術士<技術士の第一次試験免除(日本技術者教育認定基準「JABEE」)認定プログラム修了者>(6)
		電子情報通信コース	食品衛生管理者(10) 食品衛生監視員(10) 環境衛生監視員(10) 健康食品管理士(12) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4) 上級バイオ技術者(4)
		社会基盤デザインコース	栄養士(11) 管理栄養士(13) 健康食品管理士(12)
		建築学コース	
		知能情報コース	
		亞熱帯地域農学科	
		亞熱帯農林環境科学科	
		地域農業工学科	
		亞熱帯生物資源科学科	
		亞熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース	
		栄養教諭二種(B)	
		区分 (1) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格	(10)国が認定する1~9以外の資格又は試験
		(2) 卒業単位を修得することにより試験の一部が免除される試験	(11)卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる免許
区分	(3) 卒業単位を修得+必要な科目の履修により得られる資格	(4) 卒業単位を修得することにより受験資格のある試験	(12)卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる受験資格
		(5) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験	(13)前提となる免許を取得後、1年以上の実務経験を経て得られる受験資格
		(6) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験	(14)学部における所定単位の修得 / 卒業、及び大学院における所定単位の修得 / 修了により得られる受験資格、あるいは学部における所定単位の修得 / 卒業後、実務経験を経て得られる受験資格
		(7) 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格	
		(8) 前提となる資格を取得して得られる資格	
		(9) 前提となる資格を取得後、実務経験を必要とする資格	

# 2020(令和2)年度入試統計

## 令和2年度 琉球大学 入学試験実施状況 総括表

学部	学科(課程)・専修(コース)	募集人員	志願者		第一段階選抜		受験者		合格者数	入学者人員		
			人員	倍率	人員	倍率	人員	倍率				
人文社会 学部	国際法政学科	80	295	3.7			184	2.3	88	81		
	人間社会学科	80	312	3.9			219	2.7	87	83		
	琉球アジア文化学科	40	170	4.3			121	3.0	45	40		
	小計	200	777	3.9			524	2.6	220	204		
創造国際学部域	国際地域 創造学科	昼間主コース	265	747	2.8		538	2.0	282	267		
	夜間主コース	80	377	4.7			257	3.2	86	80		
	小計	345	1124	3.3			795	2.3	368	347		
教育学部	学校教育専攻		50	194	3.9		118	2.4	50	50		
	小学校 教育コース	教科教育 専攻	国語教育専修	45	224	5.0						
			社会科教育専修									
			数学教育専修									
			理科教育専修									
			音楽教育専修									
			美術教育専修									
			保健体育専修									
			技術教育専修									
			生活科学教育専修									
	特別支援 教育コース	英語教育専修	国語教育専修	4	13	3.3			4	4		
			社会科教育専修	3	13	4.3			4	4		
			数学教育専修	5	15	3.0			5	3		
			理科教育専修	5	13	2.6			6	5		
	中学校 教育コース	教科教育 専攻	音楽教育専修	3	3	1.0			3	3		
			美術教育専修	3	4	1.3			3	3		
			保健体育専修	3	12	4.0			4	4		
			技術教育専修	3	15	5.0			5	5		
			生活科学教育専修	3	7	2.3			3	3		
			英語教育専修	3	4	1.3			3	3		
			特別支援 教育コース	10	16	1.6			11	11		
			小計	140	533	3.8			149	145		
理学部	数理科学科		40	204	5.1			136	3.4	46	40	
	物質地球科学科	物理系	40	174	4.4			140	3.5	49	41	
		地学系	25	128	5.1			70	2.8	32	28	
	海洋自然科学科	化学系	47	163	3.5			129	2.7	60	47	
		生物系	48	170	3.5			124	2.6	57	48	
医学部	小計		200	839	4.2			599	3.0	244	204	
	医学科		112	616	5.5	300	3.2	385	3.4	114	112	
	保健学科		60	178	3.0			127	2.1	69	60	
工学部	小計		172	794	4.6	300	3.2	512	3.0	183	172	
	工学科	機械工学コース	350	1414	4.0							
		エネルギー環境工学コース										
		電気システム工学コース										
		電子情報通信コース										
		社会基盤デザインコース										
		建築学コース										
農学部	工学科	知能情報コース										
		小計		350	1414	4.0			1043	3.0	396	350
		亜熱帯地域農学科	35	161	4.6			111	3.2	51	36	
		亜熱帯農林環境学科	35	200	5.7			158	4.5	45	35	
		地域農業工学科	25	105	4.2			81	3.2	31	25	
農学部	工学科	亜熱帯生物資源学科	35	157	4.5			104	3.0	43	36	
		健康栄養科学コース	10	29	2.9			27	2.7	11	10	
		小計	140	652	4.7			481	3.4	181	142	
		合 計	1547	6133	4.0			4310	2.8	1741	1564	

●志願倍率：志願者数／募集人員 ●受験倍率：受験者数／募集人員

※第一段階選抜については、医学部医学科一般入試(後期のみ実施)のものです(倍率については、第一段階選抜合格者数／募集人員)。

## 出身地別入学状況

